

氏名	種別	内容
鎌尾 まや	総説	最新女性医療, 2019, 6(2), 83-87 「ビタミンDと生殖機能」査読なし
鎌尾 まや、岩川 精吾、北河 修治	学会報告	神戸薬科大学における「健康食品領域研修認定薬剤師制度」に基づく研修プログラム受講者の調査 日本薬学会第139年会 千葉(2019/3/22)
佐野 翔、伊東 優貴、中川 公恵、鎌尾 まや、須原 義智、廣田 佳久	学会報告	ビタミンKに蛍光基NBDを導入した新規蛍光プローブによるSXRの細胞内局在変化 日本ビタミン学会第71回大会 鳥取(2019/6/8)
小林 正知、古川 絢子、鎌尾 まや、須原 義智、廣田 佳久	学会報告	磁気ビーズを標識したビタミンK誘導体による結合タンパク質の探索 日本ビタミン学会第71回大会 鳥取(2019/6/8)
小笠原 帆南、石野 穂乃果、井ノ倉 里菜、岡田 真由子、中谷 友香、鎌尾 まや、津川 尚子	学会報告	血中25-hydroxyvitamin D ₃ 濃度に対するカルシウム摂取量の影響ならびにvitamin D ₃ および25-hydroxyvitamin D ₃ の補給効果の検討 日本ビタミン学会第71回大会 鳥取(2019/6/8)
鎌尾 まや、國正 淳一、高尾 宜久、岩川 精吾、小山 豊、北河 修治、山本 哲也、中村 治正、宮田 興子	学会報告	神戸薬科大学における薬剤師を対象とした在宅医療研修プログラムの受講者調査及び学部学生を対象とした多職種連携1日見学実習の試み 第4回日本薬学教育学会大会 大阪(2019/8/24)
廣田 佳久、海野 裕真、鎌尾 まや、須原 義智、越阪 部 奈緒美	学会報告	Capsaicinによるエネルギー代謝亢進に対する TRP channel およびTMEM タンパク質の役割 フォーラム2019衛生薬学・環境トキシコロジー 京都(2019/8/31)
津川 尚子、西野 真由、栗原 晶子、小笠原 帆南、鎌尾 まや、小林 俊二郎、山村 淳一	学会報告	母乳中ビタミン Dおよび25-ヒドロキシビタミンD濃度の経年的比較ならびに地域・季節の影響 第37回日本骨代謝学会学術集会 神戸(2019/10/14)
Sano S, Ito Y, Kamao M, Suhara Y, Hirota Y	学会報告	The exploration of Vitamin K binding protein using the novel fluorescent probes. The 7th International Conference on Food Factors (ICoFF2019) / The 12th International Conference and Exhibition on Nutraceuticals and Functional Foods 2019 (ISNFF2019) Kobe, Japan (2019/12/2)
Arai T, Matsunaga T, Kamao M, Komeda S, Hirota Y	学会報告	Evaluation of azolato-bridged dinuclear platinum(II) complexes cytotoxicity in human prostate cancer cells. The 7th International Conference on Food Factors (ICoFF2019) / The 12th International Conference and Exhibition on Nutraceuticals and Functional Foods 2019 (ISNFF2019) Kobe, Japan (2019/12/2)
Kobayashi M, Asano S, Furukawa A, Kamao M, Suhara Y, Hirota Y	学会報告	Identification of vitamin K binding protein by using magnetic beads to reveal vitamin K metabolic mechanism. The 7th International Conference on Food Factors (ICoFF2019) / The 12th International Conference and Exhibition on Nutraceuticals and Functional Foods 2019 (ISNFF2019) Kobe, Japan (2019/12/3)
Asano S, Kamao M, Suhara Y, Hirota Y	学会報告	Evaluation of the vitamin K side-chain cleavage mechanism by use of hydrogenated vitamin K ₁ . The 7th International Conference on Food Factors (ICoFF2019) / The 12th International Conference and Exhibition on Nutraceuticals and Functional Foods 2019 (ISNFF2019) Kobe, Japan (2019/12/3)
Hirota Y, Kamao M, Sakaki T, Osakabe N, Suhara Y, Okano T	学会報告	Effects of vitamin D on the differentiation of mouse embryonic cerebrum derived neural stem cells. The 7th International Conference on Food Factors (ICoFF2019) / The 12th International Conference and Exhibition on Nutraceuticals and Functional Foods 2019 (ISNFF2019) Kobe, Japan (2019/12/3)
Takagi Y, Yamashita Y, Kamao M, Suhara Y, Hirota Y	学会報告	Transcriptome analysis reveals mechanism of vitamin K-induced neuronal differentiation. The 7th International Conference on Food Factors (ICoFF2019) / The 12th International Conference and Exhibition on Nutraceuticals and Functional Foods 2019 (ISNFF2019) Kobe, Japan (2019/12/3)
Yamashita Y, Okazeri M, Sato T, Kamao M, Suhara Y, Hirota Y	学会報告	Structure-activity correlation of vitamin K revealed by neural differentiation activity. The 7th International Conference on Food Factors (ICoFF2019) / The 12th International Conference and Exhibition on Nutraceuticals and Functional Foods 2019 (ISNFF2019) Kobe, Japan (2019/12/3)
Nishino M, Kuwabara A, Ogasawara H, Kamao M, Kobayashi S, Yamamura J, Tsugawa N	学会報告	Comparison of breast milk vitamin D and 25-hydroxyvitamin D concentration of Japanese breastfeeding women in 1989 and 2016-2017. The 7th International Conference on Food Factors (ICoFF2019) / The 12th International Conference and Exhibition on Nutraceuticals and Functional Foods 2019 (ISNFF2019) Kobe, Japan (2019/12/3)
鎌尾 まや	講演	神戸薬科大学における生涯研修支援事業と健康食品領域研修認定薬剤師制度 生活習慣病予防のための機能性食品開発に関する研究会 大阪(2019/2/22)
鎌尾 まや	講演	健康食品って大丈夫？ 特定非営利活動法人エナガの会 千代が丘つながりの場所〜エナガの家〜 薬剤師に聞いてみよう！！ 神戸(2019/3/26)
鎌尾 まや	講演	薬剤師の生涯研修と神戸薬科大学における生涯研修支援事業 令和元年度 神戸薬科大学同窓会支部生涯研修企画委員夏季研修会 神戸(2019/8/25)
鎌尾 まや	講演	一緒に学ぼう！ 健康食品・サプリメントの正しい知識 神戸薬科大学第20回健康サポートセミナー 神戸(2019/9/2)
鎌尾 まや	講演	薬学における健康食品分野への取り組み ―神戸薬科大学における健康食品領域研修認定薬剤師制度について― レギュラトリーサイエンス財団 大阪事業所職員研修会 大阪(2019/10/17)
堀部里帆、横山郁子、河内正二、藤本佳昭、田中葉月、森夕理子、沼田千賀子	学会報告	がん教育実施による中学1年生の死生観の変化 第13回緩和医療薬学会 千葉(2019/6/1)
田中葉月、横山郁子、藤本佳昭、堀部里帆、森夕理子、沼田千賀子	学会報告	中学生に対するがん教育の縦断的実施-中学2年生に「顕微鏡を使ってがん細胞を見てみよう」を実施して 第13回緩和医療薬学会 千葉 (2019/6/2)
堀部里帆、横山郁子、河内正二、藤本佳昭、田中葉月、森夕理子、沼田千賀子	学会報告	がん教育による中学1年生の死生観の変化 第17回日本臨床腫瘍学会学術大会 京都(2019/7/26)
田中葉月、堀部里帆、横山郁子、河内正二、藤本佳昭、森夕理子、沼田千賀子	学会報告	中学生に対するがん教育の縦断的実施-中学2年生に「顕微鏡を使ってがん細胞を見てみよう」を実施して第17回日本臨床腫瘍学会学術大会 京都(2019/7/26)
中尾幸代、村田明子、松田裕子、南恵理子、山中智香、沼田千賀子	学会報告	新人薬剤師に求められる基本的な社会的スキルに関する研究―基本的な社会的スキルの分析― 第4回日本薬学教育学会大会 大阪(2019/8/24)
村田明子、中尾幸代、松田裕子、南恵理子、山中智香、沼田千賀子	学会報告	新人薬剤師に求められる基本的な社会的スキルに関する研究―学生の実態― 第4回日本薬学教育学会大会 大阪(2019/8/25)

森夕理子、田中育子、岡本禎晃、沼田千賀子	学会報告	スボレキサントの不眠改善効果およびその因子に関する調査 第29回日本医療薬学会年会 福岡 (2019/11/2) 査読あり
藤波 綾、友藤 由美、多河 典子、夏目 重厚、水野 成人、加藤 郁夫	学会報告	脳梗塞におけるアディポネクチンアイソフォームの臨床的意義 日本薬学会第139年会 千葉 (2019/3/21)
佐久間 美佐緒、河本 由紀子、奥貞 智、池末 裕明、室井 延之、橋田 亨	学会報告	神戸市立医療センター中央市民病院におけるトレーニングレポート運用の現状と課題 日本病院薬剤師会近畿学術大会第40回大会 奈良 (2019/1/20)
穂原 裕奈、山本 和宏、水田 直美、丹田 雅明、伊藤 雄大、坂根 稔康、國正 淳一、濱口 常男、北河 修治、矢野 育子	学会報告	化学療法誘発性の悪心・嘔吐予防目的のオランザピン投与量に関する検討 日本薬学会第139年会 千葉 (2019/3/21)
榎本 彩花、丹田 雅明、植田 梨沙、水田 直美、山本 和宏、西岡 達也、榎本 博雄、坂根 稔康、國正 淳一、濱口 常男、北河 修治、矢野 育子	学会報告	経口抗がん薬を含む術後補助化学療法における病院および保険薬局薬剤師との協働支援の有用性評価 日本臨床腫瘍薬学会学術大会2019 札幌 (2019/3/23)
菅生 有夏、藤田 浩平、山本 和宏、大本 暢子、西岡 達也、久米 学、榎本 博雄、坂根 稔康、國正 淳一、濱口 常男、北河 修治、矢野 育子	学会報告	睡眠薬使用後にせん妄が出現した患者のICU入室中におけるリスク因子の探索 第8回日本薬剤師レジデントフォーラム 福岡 (2019/3/17)
穂原 裕奈、山本 和宏、水田 直美、丹田 雅明、伊藤 雄大、坂根 稔康、國正 淳一、濱口 常男、北河 修治、矢野 育子	学会報告	高度催吐性リスクの化学療法に伴う悪心・嘔吐に対するオランザピン投与量の検討 第8回日本薬剤師レジデントフォーラム 福岡 (2019/3/17)
榎本 彩花、丹田 雅明、植田 梨沙、水田 直美、山本 和宏、西岡 達也、榎本 博雄、坂根 稔康、國正 淳一、濱口 常男、北河 修治、矢野 育子	学会報告	経口抗がん薬を含む術後補助化学療法における薬業協働支援の有用性 第8回日本薬剤師レジデントフォーラム 福岡 (2019/3/17)
浜崎 美月、山本 和宏、濱口 常男、國正 淳一、矢野 育子	学会報告	肺由来細胞のエベロリムス反応性におけるSTAT3遺伝子多型の影響 医療薬学フォーラム2019 第27回 クリニカルファーマシーシンポジウム 広島 (2019/7/13)
竹下 治範、波多江 崇、竹内 敦子、都出 千里、北河 修治、濱口 常男	学会報告	高湿度下における市販錠剤の重量と硬度に及ぼす包装素材の相違について 日本薬学会第139年会 千葉 (2019/3/21)
前川裕希、辰見明俊、小森由理子、高橋一栄、山本克己、濱口常男	学会報告	免疫チェックポイント阻害剤ニボルマブによる免疫関連有害事象発現予測因子の探索 日本医療薬学会第3回フレッシュャーズ・カンファランス 東京 (2019/6/16)
上田浩貴、郡司真人、石井克尚、辰見明俊、上田綾佳、伊藤武志、濱口常男、濱口良彦	学会報告	トラスツマブ、ドキシソルピシン、ペバシズマブ投与による左室機能への影響 第2回日本腫瘍循環器学会学術集会 北海道 (2019/9/21-22)
山本 克己	講演	学術研究倫理審査について、(一社)大阪府薬剤師会 平成30年度学術研究倫理に関する研修会 大阪 2019/2/9
山本 克己	講演	倫理審査に係る事務的事项、(公社)日本薬剤師会 平成30年度日本薬剤師会研究倫理に関する全国会議 東京 2019/3/13
山本 克己	講演	レベルアップ輸液調製、神戸薬科大学 第53回薬剤師実践塾 神戸 2019/6/16
山本 克己	講演	薬局における臨床研究の実践、第41回大阪大谷大学薬学部地域連携学術交流会 大阪 2019/9/7
山本 克己	講演	無菌調製の基礎知識、(一社)大阪府薬剤師会 令和元年度 無菌調剤室利用者研修会 I 大阪 2019/9/14
沼田千賀子	講演	青少年へのがん教育～中学生に対するがん教育の実施および生徒の意識変化～ 大阪薬科大学 第18回公開シンポジウム 大阪 (2019/2/24)
沼田千賀子	講演	神戸薬科大学SP会「人と人との結びつき」を深める 神戸薬科大学模擬患者会&神戸学院大学模擬患者会SP交流会 (2019/3/15)
沼田千賀子	講演	メディカル・カフェの開き方～薬局を対話の場にする～ JACP関西2019春のセミナー (2019/4/14)
Ohta M, Fujinami A, Oishi K, Kobayashi N, Ohnishi K, Ohkura N.	論文	Ashitaba (Angelica Keiskei) exudate prevents increases in plasminogen activator inhibitor-1 induced by obesity in Tsumura Suzuki Obese Diabetic Mice. J. Diet Suppl., 16(3):331-344. 査読あり
Momoyo Hashimoto, Kazuki Aogaki, Chikako Numata, Kensuke Moriawaki, Yoshinobu Matsuda, Ryohei Ishii, Ikuko Tanaka, Yoshiaki Okamoto	論文	Factors influencing the prescribed dose of opioid analgesics, Journal of Opioid Management, (2019) 査読あり
藤田麻衣、大谷綾、河内正二、笹瀬典子、中尾啓子、藤井貴子、金秀基、金守良、國正淳一、金啓二	学会報告	肝性脳症患者へのリファキシミン長期投与による有効性と安全性の調査 第69回 日本薬学会関西支部総会・大会 神戸 (2019/10/12)
Kawauchi S., Horibe S., Sasaki N., Tanahashi T, Mizuno S, Hamaguchi T., Rikitake Y.	論文	Mar Drugs., 17(2), E104, 2019. "Inhibitory effects of sodium alginate on hepatic steatosis in mice induced by a methionine-and choline-deficient diet" 査読有り
Suzuki T., Wakao Y., Watanabe T., Hori M., Ikeda Y., Tsuchiya H., Kogure K., Harada-Shiba M., Fujimuro M., Kamiya H.	論文	Nucleosides Nucleotides Nucleic Acids, 2019, 38, 942-949. doi: 10.1080/15257770.2019.1638514. "Effects of plasmid-specific histone acetyltransferase recruitment system in vivo." 査読有り
Shitan N., Yazaki K.	総説	Biochim. Biophys Acta Biomembra., 2019, 15:183127. doi: 10.1016/j.bbamem.2019.183127. "Dynamism of vacuoles toward survival strategy in plants." 査読有り
Kakegawa H., Shitan N., Kusano H., Ogita S., Yazaki K., Sugiyama A.	論文	Biosci. Biotechnol. Biochem. 2019, 83(7):1300-1305 doi: 10.1080/09168451.2019.1606698. "Uptake of adenine by purine permeases of Coffea canephora." 査読有り
池田 義人、森田 真也、波多野 亮、辻 徳治、寺田 智祐	学会報告	タウロヒオデオキシコール酸が有する胆汁中リン脂質排出促進作用とその機序-胆汁酸肝組織障害に対する治療薬開発を目指したABC4活性分子の探索- 第69回日本薬学会関西支部総会・大会 神戸 (2019/10/12)
濱口 雄大、伊藤 加奈子、池田 義人、天野 郁子、山田 泰之、神戸 大朋、土反 伸和	学会報告	亜鉛吸収に働くZip4のタンパク質発現を増加させる生薬成分の探索 第69回日本薬学会関西支部総会・大会 神戸 (2019/10/12)
山田 泰之、堀 健太郎、土反 伸和、佐藤 文彦	学会報告	ケシ科ハナビシソウのドラフトゲノムデータを利用したイソキノリンアルカロイド生合成関連遺伝子のマッピング-ドラフトゲノムデータを利用した生合成関連遺伝子の探索- 第69回日本薬学会関西支部総会・大会 神戸 (2019/10/12)
潤井 みや、山田 泰之、大木 秀浩、炭田 奈々、南 博道、佐藤 文彦、土反 伸和	学会報告	アルカロイド生産性ビギア酵母への輸送体タンパク質の導入と生産性変化の検討 第69回日本薬学会関西支部総会・大会 神戸 (2019/10/12)
松井 治幸、山田 泰之、大木 秀浩、井上 開、潤井 みや、中川 明、南 博道、佐藤 文彦、土反 伸和	学会報告	アルカロイド生産性大腸菌への輸送体AtDTX1導入と生産性変化の検討 第69回日本薬学会関西支部総会・大会 神戸 (2019/10/12)
八田 裕人、山田 泰之、森 祐貴、佐藤 文彦、土反 伸和	学会報告	オウレンのペルベリン生合成系の発現制御に関わる転写因子GIXEのプロモーターのDNA結合性の解析 第69回日本薬学会関西支部総会・大会 神戸 (2019/10/12)

潤井 みや、山田 泰之、大木 秀浩、炭田 奈々、南博道、佐藤 文彦、土反 伸和	学会報告	Stylopine生産性ビキア酵母への耐性・輸送体タンパク質の導入と生産性変化の検討 第14回トランスポーター研究会年会 北海道 (2019/7/20)
松井 治幸、山田 泰之、大木 秀浩、井上 開、潤井 みや、中川 明、南 博道、佐藤 文彦、土反 伸和	学会報告	Reticuline生産性大腸菌への輸送体導入と生産効率変化の検討 第14回トランスポーター研究会年会 北海道 (2019/7/20)
山田 泰之、堀 健太郎、土反 伸和、佐藤 文彦	学会報告	ハナビシソウドラフトゲノムデータを利用したイソキノリンアルカロイド生合成関連遺伝子のマッピング 日本農芸化学会2019年度大会 東京 (2019/3/26)
山田 泰之	講演	輸送工学を用いた効率的な有用アルカロイド生産系開発への挑戦 第14回トランスポーター研究会年会 北海道 (2019/7/21)
土反 伸和、南 翔太、津山 濯、森山 芳則、矢崎 一史	講演	ジャスモン酸誘導性タバコ輸送体NrNCS1の機能解析 第13回メタボロームシンポジウム筑波 (2019/10/17)
土反 伸和	講演	Transporters of secondary metabolites -Identification, characterization, and possible application to synthetic biology- 第60回日本植物生理学会年会 名古屋 (2019/3/13)
忍海邊 梨紗、上西 美徳、辻井 佳代、松村 友和、小間 実、小林 政彦、土生 康司	学会報告	PMDA 添付文書情報検索サイトにおける糖尿病薬識別コードの登録様式の多様性 日本薬学会第139年会 千葉 (2019/3/21)
上西 美徳、忍海邊 梨紗、谷村 学、土生 康司	学会報告	薬剤鑑別におけるPMDA 添付文書情報検索サイトの活用状況とニーズに関する病院薬剤師へのアンケート調査 日本薬学会第139年会 千葉 (2019/3/21)
土生 康司	学会報告	シンポジウム 新時代の医薬品リスクマネジメント ～新たなハザードに対して 医薬品情報を活用するベースはできているか ～ドイツの状況から再考～ 日本薬学会第139年会 千葉 (2019/3/23)
土生 康司、上西 美徳、忍海邊 梨紗、辻井 佳代、小林 政彦、谷村 学	学会報告	PMDA の医薬品情報検索ページを活用した薬剤鑑別に関する調査 第22回日本医薬品情報学会総会・学術大会 札幌 (2019/6/30)
奥菌 春奈、谷本 祐子、木下 里紗、吉良 俊彦、石倉 久美子、森田 智子、村田 久枝、真常 美紀、津田 宜志、堀越 博一、中島 由利恵、村西 泰法、土生 康司、但馬 重俊、小林 政彦	学会報告	近隣5病院統一の問い合わせ簡素化に対する医師の意識調査 第29回日本医療薬学会年会 福岡 (2019/11/3)
畦地穂、土生康司、辻井佳代、小林政彦	トピックス	B型肝炎再活性化リスクのある医薬品の適正使用に向けた取り組み ～ブレドニブロン®の長期使用によるリスク上昇患者への対策強化～ 医薬ジャーナル Vol.55 p137-141 (2019)
土生 康司	著書	みてわかる薬学 図解医薬品情報学改訂第4版 医薬品インタビューフォーム p81-96 (2019)
Sekimoto H., Rikitake Y.	論文	J Clin Pharm Ther., 2019, 44(6), 912-923. "Efficacy and safety of levetiracetam in Japanese epilepsy patients: A retrospective cohort study" 査読有り
Amin H.Z., Sasaki N., Yamashita T., Mizoguchi T., Hayashi T., Emoto T., Matsumoto T., Yoshida N., Tabata T., Horibe S., Kawauchi S., Rikitake Y., Hirata KI.	論文	Sci Rep., 2019, 9(1), 8065. doi: 10.1038/s41598-019-44523-6. "CTLA-4 Protects against Angiotensin II-Induced Abdominal Aortic Aneurysm Formation in Mice" 査読有り
Emoto T., Sasaki N., Yamashita T., Fukunaga A., Masaki T., Nishigori C., Hirata KI.	論文	Photomedicine and Photobiology, 2019, 40, 17-22. "Possible beneficial effects of narrow-band UVB therapy on hypertension and vitamin D levels in patients with cutaneous disease" 査読有り
Kawauchi S., Horibe S., Sasaki N., Hirata KI., Rikitake Y.	論文	Exp Cell Res., 2019, 374(2), 333-341. "A novel in vitro co-culture model to examine contact formation between astrocytic processes and cerebral vessels." 査読有り
佐々木直人、Hilman Zulkifli Amin、堀部紗世、河内正二、平田健一、力武良行	学会報告	共抑制分子CTLA-4はアンジオテンシンII誘導性マウス腹部大動脈瘤の形成を抑制する 日本薬学会第139年会 千葉 (2019/3/22)
常岡眞帆、堀部紗世、前寄友香里、松友結花、河内正二、佐々木直人、力武良行、	学会報告	ミトコンドリアDNA変異によるミトコンドリア機能低下はシスプラチン耐性獲得に関与する 日本薬学会第139年会 千葉 (2019/3/22)
Sasaki N., Amin H.Z., Rikitake Y.	学会報告	Immune Checkpoint Proteins and Regulatory T Cells as Critical Immune Modulators in Atherosclerotic Disease and Cancer. 第83回日本循環器学会学術集会 横浜 (2019/3/29)
Rikitake Y.	学会報告	Nectin-Like Molecules as Novel Regulators in Angiogenesis and Atherosclerosis. 9th FAOPS2019 神戸 (2019/3/30)
佐々木直人、力武良行	学会報告	動脈硬化性疾患に対する新規免疫療法の開発 第51回日本動脈硬化学会総会 京都 (2019/7/11)
Amin H.Z., Sasaki N., Yamashita T., Mizoguchi T., Hayashi T., Emoto T., Matsumoto T., Yoshida N., Tabata T., Horibe S., Kawauchi S., Rikitake Y., Hirata KI.	学会報告	Overexpression of cytotoxic T-lymphocyte-associated antigen-4 suppresses aortic immunoinflammatory responses and prevents angiotensin II-induced abdominal aortic aneurysm formation in mice. European Society of Cardiology Congress 2019 Paris (2019/8/31)
佐々木直人、福永淳、錦織千佳子、力武 良行	学会報告	紫外線を用いた新規心血管疾患治療法の開発 第39回日本光医学・光生物学会 富山 (2019/7/19)
渡辺奈津子、堀部紗世、岸本星都、船越恵美、森本万智子、池田宏二、江本憲昭、河内正二、佐々木直人、平田健一、力武良行	学会報告	ミクログリア活性化における脳血管内皮細胞老化の役割 第69回 日本薬学会関西支部総会・大会 神戸 (2019/10/12)
岸本星都、堀部紗世、船越恵美、森本万智子、渡辺奈津子、河内正二、佐々木直人、池田宏二、江本憲昭、平田健一、力武良行	学会報告	アルツハイマー病モデルマウスの成熟期における認知機能に対する血管内皮細胞老化の影響 第69回 日本薬学会関西支部総会・大会 神戸 (2019/10/12)
楠見里紗、堀部紗世、豊田真世子、牧野夢叶、河内正二、佐々木直人、石川香、中田和人、力武良行	学会報告	シスプラチン耐性獲得における電子伝達系複合体サブユニットタンパク質をコードするミトコンドリアDNA変異の役割 第69回 日本薬学会関西支部総会・大会 神戸 (2019/10/12)
Amin H.Z., Sasaki N., Yamashita T., Mizoguchi T., Hayashi T., Emoto T., Matsumoto T., Yoshida N., Tabata T., Horibe S., Kawauchi S., Rikitake Y., Hirata KI.	学会報告	Overexpression of cytotoxic T-lymphocyte-associated antigen-4 suppresses aortic immunoinflammatory responses and prevents angiotensin II-induced abdominal aortic aneurysm formation in mice. , European Society of Cardiology Asia Congress 2019 Singapore (2019/11/8)
Amin H.Z., Sasaki N., Horibe S., Kawauchi S., Matsuo K., Nakayama T., Rikitake Y.	学会報告	Pharmacological blockade of C-C chemokine receptor 4 exacerbates atherosclerosis in apolipoprotein E-deficient mice. The 91th AHA Scientific Sessions 2019 Philadelphia (2019/11/18)
豊田真世子、堀部紗世、楠見理紗、牧野夢叶、河内正二、佐々木直人、石川香、中田和人、力武良行	学会報告	シスプラチン耐性獲得機構におけるミトコンドリアDNA変異の役割 第42回日本分子生物学会年会 福岡 (2019/12/3)
森本万智子、堀部紗世、岸本星都、船越恵美、渡辺奈津子、河内正二、佐々木直人、池田宏二、江本憲昭、平田健一、力武良行	学会報告	脳血管内皮細胞老化からのSASPを介したミクログリアの活性化 第42回日本分子生物学会年会 福岡 (2019/12/5)

Sasaki N., Matsuo K., Nakayama T.	学会報告	Pharmacological blockade of C-C chemokine receptor 4 exacerbates early atherosclerosis in mice 第48回日本免疫学会学術集会 浜松 (2019/12/11)
Akai T.	学会報告	The Takarazuka Girls' Opera and the Urban-Rural Boundary. International Federation for Theatre Research World Congress 2018, Shanghai (2019/7/10)
赤井 朋子	学会報告	ヴィクトリア劇場とシンガポールの英語演劇について 英米文化学会アジア・パシフィック劇場文化分科会 東京 (2019/3/9)
後藤恵子、富澤崇、有田悦子、沼田千賀子、野呂瀬崇彦、井手口直子、半谷真七子、平井みどり	論文	かかりつけ薬剤師に求められるコミュニケーションスタンダード (Pharmaceutical Communication Standard) の構築, 日本ファーマシューティカルコミュニケーション学会会誌, 17(2), 17-29(2019)
金子 利雄、堀内 正子(責任者)、玉巻 欣子(編著者)、エリック スカイヤー、板垣 正、井原 久美子、河野 享子、齋藤 弘明、高橋 和子、竹内 典子、田沢 恭子、平井 清子、吉澤 小百合、日本薬学英語研究会編	著書	薬学生のための英語2 pp.85-91 (Unit 13). Pharmaceutical Terminology. Units 1～16.(成美堂) (2019.1.20)
野口 ジュディー(監)、天ヶ瀬 葉子、神前 陽子、スミス 朋子、玉巻 欣子、堀 朋子、村木 美紀子	著書	これからの薬学英語 pp. 26-33 (Lesson 5). (講談社サイエンティフィク) (2019.9.30)
金子 利雄、エリック スカイヤー、板垣 正、井原 久美子、岩澤 真紀子、河野 享子、齋藤 弘明、高橋 和子、玉巻 欣子、平井 清子、堀内 正子、吉澤 小百合、渡辺 朋子	著書	薬学生のための英語会話—2020年度版— Dictation Unit 1～15、Reading comprehension & Listening Comprehension Unit 14. (東京化学同人)(2019.12.20)
玉巻 欣子	著書	ALC NetAcademy NEXT 医学・医療英語コース(2019年2月リリース)『ボキャブラリーサブコース』監修
玉巻 欣子、田内 義彦	学会報告	米国薬学生から見た日本人薬学生の英語プレゼンテーション 日本社会薬学会第38年会(松山)ポスター発表(2019/9/16)
Razali N, Horikawa I, Hohjoh H, Yoshikawa C, Hasegawa H.	論文	BPB Reports Vol.2, No.4, p.39-47 Prostaglandin-Modulated Interaction of Thymic Progenitor Cells with Blood Vessels during Estradiol-Induced Thymic Involution
Nakagawa K, Fujiwara K, Nishimura A, Murakami C, Kawamoto K, Ichinose C, Kunitou Y, Suhara Y, Okano T, Hasegawa H.	論文	Int J Mol Sci. 2019 Apr 22;20(8). pii: E1971. doi: 10.3390/ijms20081971. UBIAD1 Plays an Essential Role in the Survival of Pancreatic Acinar Cells.
Kinoshita-Kawada M, Hasegawa H, Hongu T, Yanagi S, Kanaho Y, Masai I, Mishima T, Chen X, Tsuboi Y, Rao Y, Yuasa-Kawada J, Wu JY.	論文	Development. 2019 Feb 4;146(3). pii: dev172106. doi: 10.1242/dev.172106. A crucial role for Arf6 in the response of commissural axons to Slit.
Kinoshita-Kawada M, Hasegawa H, Hongu T, Yanagi S, Kanaho Y, Masai I, Mishima T, Chen X-p, Tsuboi Y, Rao Y, Yuasa-Kawada J, Wu JY.	論文	Bio-protocol DOI: 10.21769/BioProtoc.3373 Vol 9, Iss 18, September 20, 2019 Explant Culture of the Embryonic Mouse Spinal Cord and Gene Transfer by ex vivo Electroporation
長谷川潤	学会報告	生体ストレスが誘導する血管系リモデリング 日本薬学会第139年会 千葉(2019/3/22)
中川公恵, 吉野寿美, 北裏卓也, 長谷川潤	学会報告	脳神経特異的UBIAD1欠損により生じる小脳プルキンエ細胞消失の原因解析 日本薬学会第139年会 千葉(2019/3/22)
北條寛典, 村田裕香, 井上枝里夏, 廣野順介, 中川公恵, 長谷川潤	学会報告	末梢神経再生におけるT細胞機能の解析 日本薬学会第139年会 千葉(2019/3/22)
村田裕香, 北條寛典, 佐田晴佳, 井上枝里夏, 中川公恵, 長谷川潤	学会報告	軸索再生に関与するMMPの同定と機能解析 日本薬学会第139年会 千葉(2019/3/22)
鶴海郁子, 増田成美, 吉野寿美, 北裏卓也, 中川公恵, 長谷川潤	学会報告	脳特異的UBIAD1欠損マウスを用いた小脳プルキンエ細胞におけるUBIAD1の機能解析 日本ビタミン学会第71回大会 鳥取(2019/6/8)
村上知奈美, 藤原聖美, 西村亮宏, 一ノ瀬千尋, 河本桂生花, 中川公恵	学会報告	Tamoxifen誘導型ビタミンK変換酵素(UBIAD1)欠損マウスの解析 日本ビタミン学会第71回大会 鳥取(2019/6/8)
定元拓也, 御田ゆりえ, 岡田亮輔, 園田絵観子, 中川公恵, 長谷川潤	学会報告	心血管特異的ビタミンK変換酵素(UBIAD1)欠損マウスの表現型解析 日本ビタミン学会第71回大会 鳥取(2019/6/8)
平島俊亮, 一ノ瀬敏紀, 須原義智, 中川公恵, 長谷川潤	学会報告	ビタミンK1 (Phylloquinone) のビタミンK2 (Menaquinone-4) への変換機構に関与する側鎖切断酵素の探索 日本ビタミン学会第71回大会 鳥取(2019/6/8)
長谷川潤, 長田理沙, 北條寛典, 中川公恵	学会報告	フタル酸エステルによる妊娠子宮での細胞増殖阻害 第46回日本毒性学会学術年会 徳島(2019/6/28)
長田理沙, 尾西英之, 北條寛典, 中川公恵, 長谷川潤	学会報告	妊娠初期のDEHP曝露による母体胎の免疫能低下 第46回日本毒性学会学術年会 徳島(2019/6/28)
Hasegawa H, Hohjoh H, Razali N, Maharjan BD, Nakagawa K, Mizutani K.	学会報告	Nerve remodeling in the thymus induced by diet-restriction. Neuro2019 新潟(2019/7/25)
Hohjoh H, Nakagawa K, Hasegawa H.	学会報告	T cells facilitate peripheral nerve regeneration. Neuro2019 新潟(2019/7/27)
Razali N, Hohjoh H, Maharjan BD, Nakagawa K, Hasegawa H.	学会報告	Immunomodulatory effects of prostanoids in regulating the balance between Th1- and Th2-producing inflammatory cytokines in diet-restriction-induced thymic involution フォーラム2019 衛生薬学・環境トキシコロジー 京都(2019/8/31)
北條寛典, 長田理沙, 長谷川潤	学会報告	妊娠初期のDEHP曝露が胎免疫能に与える影響 フォーラム2019 衛生薬学・環境トキシコロジー 京都(2019/8/31)
長谷川潤, 北條寛典, 長田理沙, Nurhanani Razali, 中川公恵, 瀬木一西田恵里	学会報告	妊娠初期のフタル酸エステル摂取による子宮の組織化学的変化 第92回日本生化学会大会 横浜(2019/9/18)
北條寛典, 中川公恵, 長谷川潤	学会報告	T細胞による軸索再生促進機構の解析 第92回日本生化学会大会 横浜(2019/9/20)
北條寛典, 長谷川潤	学会報告	末梢神経再生におけるT細胞の役割の解析 —T細胞は末梢神経再生を促進する— 第69回日本薬学会関西支部例会・大会 神戸(2019/10/12)
Razali N, Horikawa I, Hohjoh H, Yoshikawa C, Hasegawa H.	学会報告	Roles of prostanoids in estradiol-induced thymic involution -Regulation of the interaction between thymic progenitor cells and blood vessels- 第69回日本薬学会関西支部例会・大会 神戸(2019/10/12)
外園さや, 坂本菜緒子, 濱元千明, 北條寛典, 瀬木-西田恵里, 中川公恵, 長谷川潤	学会報告	妊娠時の末梢組織における軸索伸長機構の解明 第69回日本薬学会関西支部例会・大会 神戸(2019/10/12)
近藤まゆ, 齊藤直人, 北條寛典, 瀬木-西田恵里, 中川公恵, 長谷川潤	学会報告	妊娠が海馬における細胞増殖に与える影響の解析 第69回日本薬学会関西支部例会・大会 神戸(2019/10/12)
平島俊亮, 一ノ瀬敏紀, 中川公恵, 須原義智, 長谷川潤	学会報告	ビタミンK1からビタミンK2への変換機構における側鎖切断反応を担う酵素の探索 第69回日本薬学会関西支部例会・大会 神戸(2019/10/12)

増田成美, 鶴見郁子, 邊見華奈子, 中川公恵, 長谷川潤	学会報告	小脳におけるビタミンK変換酵素UBIAD1の機能解析 第69回日本薬学会関西支部例会・大会 神戸(2019/10/12)
Le H.D., Takenaka Y., Mizushina Y., Tanahashi T.	論文	Vietnam J. Chem., 2019, 57(1), 112-115, doi:10.1002/vjch.201960018. “Evaluation of DNA polymerase inhibitory activities of depsidones, depsides and diaryl ethers from the Vietnamese lichen Rimelia clavulifera” 査読あり
児玉典子, 小山淳子	論文	Libra, 2019, 19, 1-9 “Audience response system (ARS) の学習意欲に及ぼす影響因子について” 査読無し
児玉典子, 藤波綾, 細川美香, 西山由美, 田中将史, 小山淳子, 竹内敦子	学会報告	薬学英語学習者の達成関連感情と学習方略及び自己効力感との関連について 日本薬学会第139年会 (2019/3/21)
合田奈央, 阿達早紀, 藤山幸子, 前田佑子, 清水美希, 白木裕之, 林真凜, 小山淳子, 和田昭盛, 児玉典子	学会報告	自律性を重視したFlipped peer learningの学習経験を経て 日本薬学会第139年会 (2019/3/21)
小山淳子, 児玉典子	学会報告	ゼミ発表における学習支援システムの活用について 日本薬学会第139年会 (2019/3/21)
児玉典子, 小山淳子, 安岡由美, 西村克己, 和田昭盛	学会報告	クッキーを活用した研修会参加前後における気分と意欲の変化及び関連性 日本薬学教育学会第3回大会 (2019/8/25)
Takase H., Tanaka M., Nakamura Y., Morita S., Yamada T., Mukai T.	論文	Chem. Phys. Lipids 2019, 221: 8–14. doi: 10.1016/j.chemphyslip.2019.03.001. “Effects of Lipid Composition on the Structural Properties of Human Serum Amyloid A in Reconstituted High-Density Lipoprotein Particles” 査読有り
Tanaka M., Hasegawa M., Yoshimoto N., Hoshikawa K., Mukai T.	論文	Biol. Pharm. Bull. 2019, 42 (8): 1376-1383. “Preparation of Lipid Nanodisks Containing Apolipoprotein E-Derived Synthetic Peptides for Biocompatible Delivery Vehicles Targeting Low-Density Lipoprotein Receptor” 査読有り
Maeda H., Morita K., Murokawa A., Matsuo R., Nariai H., Nakayama H.	論文	Phosphorus Res. Bull. 2019, 35: 55-58. “Introduction of Phosphonate Group into Kojic acid by Diphosphonate” 査読有り
田中 将史	講演	AAアミロイドーシス発症の分子基盤の解明 第6回AASAA (AAアミロイドーシスと血清アミロイドA) 研究会, 京都 (2019/4/16)
安田 未来, 大片 杏樹, 林 亜紀, 前田 秀子, 田中将史, 中山 尋量	学会報告	塩化物型層状複水酸化物によるカルボン酸ガス吸着特性 日本化学会第99春季年会、神戸 (2019/3/16)
出口 あかり, 前田 秀子, 中山 尋量	学会報告	シクロデキストリンによる4-メキシサリチル酸の包接能評価 日本薬学会 第139年会、船橋 (2019/3/22)
青木 健一, 前田 秀子, 中山 尋量	学会報告	シクロデキストリンによるフルバスタチンの包接能評価 第36回シクロデキストリンシンポジウム、神戸 (2019/9/12)
前田 秀子, 室川 綾華, 守田 香織, 松尾 莉佳, 成相 裕之, 中山 尋量	学会報告	美白成分の浸透性の向上を目指した無機リン酸化剤によるリン酸修飾 第28回無機リン化学討論会、甲府 (2019/9/20)
内田吉昭	著書	数えて描いて塗って学ぶ グラフ理論ワークブック(2019) 日本評論社
Adhikara I. M., Yagi K., Mayasari D. S., Ikeda K., Kitagawa H., Miyata O., Igarashi M., Hatakeyama K., Asada Y., Hirata K., Emoto N.	論文	Biochem. Biophys. Res. Commun., 2019, 509(1), 89-95. doi: 10.1016/j.bbrc.2018.12.068. "Chondroitin sulfate N-acetylgalactosaminyltransferase-2 deletion alleviates lipoprotein retention in early atherosclerosis and attenuates aortic smooth muscle cell migration" 査読有
Shida M., Mikami T., Tamura J., Kitagawa H.	論文	Biochim. Biophys. Acta Gen. Subj. 2019, 1863(9), 1319-1331. doi: 10.1016/j.bbagen.2019.06.004. "Chondroitin sulfate-D promotes neurite outgrowth by acting as an extracellular ligand for neuronal integrin α V β 3" 査読有
Sakamoto K., Ozaki T., Ko Y.-C., Tsai, C.-F., Gong Y., Morozumi M., Ishikawa Y., Uchimura K., Nadanaka S., Kitagawa H., Zulueta M. M. L., Bandaru A., Tamura J., Hung S.-C., Kadomatsu K.	論文	Nat. Chem. Biol., 2019, 15(7), 699-709. doi: 10.1038/s41589-019-0274-x. "Glycan sulfating patterns define autophagy flux at axon tip via PTPR σ -cortactin axis" 査読有
Kitagawa, H.	総説	Trends Glycosci. Glycotechnol., 2019, 31(181), SE15-SE17. doi: 10.4052/tigg.1907.2SE (Japanese Edition: doi: 10.4052/tigg.1907.2SJ) "Unexpected Roles of Exostosin-like 2, EXTL2, in Glycosaminoglycan Biosynthesis and Function" 査読有
Nadanaka, S., Kitagawa, H.	総説	Glycoforum, 2019, 22(3), A8. doi: 10.32285/glycoforum.22A8 (Japanese Edition: doi: 10.32285/glycoforum.22A8J) "Insight into the key roles of chondroitin sulfate proteoglycans in cancer biology -Cell signaling regulated by chondroitin sulfates in as structure-specific manner and how it relates to cancer-" 査読有
灘中 里美	総説	ファルマシア, 2019, 55(4), 305-309 doi: 10.14894/faruawpsj.55.4_305「コンドロイチン硫酸とカドヘリンの相互作用により何が起こるのか？」
赤阪 啓子, 灘中 里美, 近藤 嘉高, 石神 昭人, 北川 裕之, 萬谷 博, 遠藤玉夫	学会報告	a-Klothoマウスの肺におけるヘパラン硫酸プロテオグリカンの分泌抑制 日本薬学会第139年会 千葉 (2019/3/20-23)
三上 雅久, 灘中 里美, 北川 裕之	学会報告	骨リモデリング制御因子としてのコンドロイチン硫酸の解析 2018年度学長裁量経費に基づく学内共同研究プログラム 公開報告会 神戸 (2019.7.9)
灘中 里美, 宮田 真路, 田村 純一, 北川 裕之	学会報告	神経可塑性に関わるセマフォリン3Aが認識する糖鎖構造の解析 第38回日本糖質学会 名古屋 (2019/8/19-21)
志田 美春, 三上 雅久, 田村 純一, 北川 裕之	学会報告	コンドロイチン硫酸Dによる神経制御メカニズムの解析 第38回日本糖質学会 名古屋 (2019/8/19-21)
田村 純一, 上村 明寿美, 松下 健也, 中田 有美, 灘中 里美, 北川 裕之	学会報告	ビオチン化コンドロイチン硫酸四糖の合成とその分子親和性 第38回日本糖質学会 名古屋 (2019/8/19-21)
灘中 里美, 尾上 舞歩, 大塚 菜央, 坂本 由里子, 吉田 有梨花, 北川 裕之	学会報告	がん細胞の増殖や浸潤シグナルを制御するグリコサミノグルカン 第92回日本生化学会大会 横浜 (2019.9.18-20)
武智 美奈, 大島 健司, 灘野 太太, 松田 幹, 佐藤 ちひろ, 北島 健, 北川 裕之, 宮田 真路	学会報告	胎仔期マウス脳皮質形成におけるヒアルロン酸の発現変動と細胞外基質としての機能 第92回日本生化学会大会 横浜 (2019/9/18-20)
Shida M., Mikami T., Tamura J., Kitagawa H.	学会報告	Chondroitin sulfate-D promotes neurite outgrowth by acting as an extracellular ligand for neuronal integrin α V β 3. 11th International Conference on Proteoglycans Kanazawa (2019/9/29-10/3)

Nadanaka S., Kinouchi H., Kitagawa H.	学会報告	Chondroitin sulfate-mediated N-cadherin/ β -catenin signaling is associated with basal-like breast cancer cell invasion. 11th International Conference on Proteoglycans Kanazawa (2019/9/29-10/3)
Miyata S., Takechi M., Oshima K., Nadano D., Sato C., Kitajima K., Matsuda T., Kitagawa H.	学会報告	Formation of a ternary complex of hyaluronan/neurocan/tenascin-C during embryonic cortical development 11th International Conference on Proteoglycans Kanazawa (2019/9/29-10/3)
Akasaka-Manyu K., Manyu H., Nadanaka S., Kitagawa H., Kondo Y., Ishigami A., Endo T.	学会報告	Reduction of α -Klotho and pulmonary emphysema in aging. 11th International Conference on Proteoglycans Kanazawa (2019/9/29-10/3)
藤本 卓也、栗林 碧、小段 沙織、志田 美春、三上 雅久、北川 裕之	学会報告	コンドロイチン硫酸-Dによる神経細胞の分化・成熟促進効果はインテグリン α V β 3を介する第69回日本薬学会関西支部総会・大会 神戸 (2019.10.12)
金ヶ江 舞香、灘中 里美、北川 裕之	学会報告	胎仔脳発達期における母体ストレスが仔マウスの行動とペリニューロナルネットの形成に与える影響 第69回日本薬学会関西支部総会・大会 神戸 (2019.10.12)
弓岡 鈴音、藤堂 安弘、後藤 倫子、三松 愛、内藤 裕子、三上 雅久、灘中 里美、北川 裕之	学会報告	コンドロイチン 6-O-硫酸基転移酵素-1の欠損による統合失調症様症状発現メカニズムの解析第69回日本薬学会関西支部総会・大会 神戸 (2019.10.12)
藤井 恒一、香川 雅人、西前 慶隆、杉原 侑樹、三上 雅久、北川 裕之	学会報告	破骨細胞分化制御因子としてのコンドロイチン硫酸鎖に関する解析 第69回日本薬学会関西支部総会・大会 神戸 (2019.10.12)
北川 裕之	講演	硫酸化糖鎖の機能解析に基づく疾患糖鎖生物学 神戸大学・神戸薬科大学合同シンポジウム 神戸 (2019/2/22)
Kitagawa, H.	講演	Chondroitin sulfate-sensing systems that regulate neurite outgrowth Glyco-Neuroscience Workshop 台北 (2019/5/6)
Ohta M., Fujinami A., Oishi K., Kobayashi K., Ohnishi K., Ohkura N.	論文	J. Diet. Suppl., 2019, 16(3), 331-344. doi:10.1080/19390211.2018.1458366. "Ashitaba (Angelica Keiskei) Exudate Prevents Increases in Plasminogen Activator Inhibitor-1 Induced by Obesity in Tsumura Suzuki Obese Diabetic Mice" 査読有り
Oyama H., Morita I., Kiguchi Y., Kobayashi N.	プロシーディング	Clinica. Chimica. Acta., 2019, 493(S13-S75), M088. "In vitro affinity maturation of anti-cortisol antibodies to develop sensitive immunoassays"
Morita I., Oyama H., Tanaka R., Kikura-Hanajiri R., Kobayashi N.	プロシーディング	Clinica. Chimica. Acta., 2019, 493(S13-S75), M105. "Generation of monoclonal antibodies for on-site analysis of psilocin and psilocybin in hallucinogenic mushrooms"
Oyama H., Morita I., Kiguchi Y., Kobayashi N.	学会報告	"In vitro affinity maturation of anti-cortisol antibodies to develop sensitive immunoassays", European Congress of Clinical Chemistry and Laboratory Medicine Barcelona (2019/05/20)
Morita I., Oyama H., Tanaka R., Kikura-Hanajiri R., Kobayashi N.	学会報告	"Generation of monoclonal antibodies for on-site analysis of psilocin and psilocybin in hallucinogenic mushrooms", European Congress of Clinical Chemistry and Laboratory Medicine Barcelona (2019/05/20)
大山 浩之、森田 いずみ、砂川 偉皓、木口 裕貴、吉田 武美、上田 宏、小林 典裕	学会報告	試験管内親和性成熟を目的とする抗メタンフェタミン硫酸抱合体一本鎖Fvフラグメントの創製 日本法中毒学会第38年会 福岡 (2019/07/26~27)
森田 いずみ、大山 浩之、木口 裕貴、田中 理恵、花尻 (木倉) 瑠理、上田 宏、小林 典裕	学会報告	試験管内親和性成熟を目的とする抗シロシビン一本鎖Fvフラグメントの作製 日本法中毒学会第38年会 福岡 (2019/07/26~27)
大山 浩之、森田 いずみ、木口 裕貴、小林 典裕	学会報告	高感度免疫測定法の開発を目的とする抗コルチゾール抗体の試験管内親和性成熟 日本分析化学会第68年会 千葉 (2019/09/13)
木口 裕貴、大山 浩之、森田 いずみ、竹内 敦子、小林 典裕	学会報告	ナンセンス変異を持つscFv遺伝子産物の構造および機能解析 日本分析化学会第68年会 千葉 (2019/09/13)
森田 いずみ、大山 浩之、田中 理恵、花尻 (木倉) 瑠理、小林 典裕	学会報告	幻覚性キノコ成分のオンサイト分析を目的とするシロシンシリル化体に対する新規モノクローナル抗体の作製 日本分析化学会第68年会 千葉 (2019/09/13)
小林 典裕、木口 裕貴、森田 いずみ、大山 浩之、上田 宏	学会報告	幻覚性キノコ成分シロシビンの高感度モニタリングを目指す高親和力抗体フラグメントの創製 2019年度人・環境と物質をつなぐイノベーション創出ダイナミック・アライアンス生命機能 物質・デバイスシステムG3分科会 吹田 (2019/11/28)
木口 裕貴、大山 浩之、森田 いずみ、中野 明日香、森川 真衣、小林 典裕	学会報告	免疫測定法の高感度化を目指す高親和力抗コルチゾール変異抗体の効率的創製 第69回日本薬学会関西支部総会・大会 神戸 (2019/10/12)
平野 圭一郎、木口 裕貴、大山 浩之、森田 いずみ、田中 理恵、花尻 (木倉) 瑠理、小林 典裕	学会報告	幻覚性キノコの高感度で簡易な鑑定を目指す抗シロシン抗体の試験管内親和性成熟 第69回日本薬学会関西支部総会・大会 神戸 (2019/10/12)
木口 裕貴、大山 浩之、森田 いずみ、村山 佳穂、小林 典裕	学会報告	V _L 49番システインの置換による抗コルチゾールscFvの抗原結合能の変化 日本薬学会第140年会 京都 (2019/03/27)
田口 美空、永田 泰大、梅澤 直子、東 優花、大山 浩之、木口 裕貴、森田 いずみ、小林 典裕	学会報告	H鎖可変部FR1を変異導入の標的とした抗エストラジオールscFvの試験管内親和性成熟 日本薬学会第140年会 京都 (2019/03/27)
東 優花、田口 美空、大山 浩之、木口 裕貴、森田 いずみ、小林 典裕	学会報告	抗エストラジオールscFvの試験管内成熟過程の系統的解析 日本薬学会第140年会 京都 (2019/03/27)
栗原 優衣、大山 浩之、森田 いずみ、小林 典裕	学会報告	VL-CDR内チロシンを置換した抗 Δ 9-テトラヒドロカンナビノールscFvの抗原結合能 日本薬学会第140年会 京都 (2019/03/27)
北河 修治、山野 由美子	著書	果物の色に秘められた巧みな力⑦ 柑橘類(後編) みかんとオレンジ 大塚薬報 2019, 1・2月, No.742, 28-31.
北河 修治、山野 由美子	著書	果物の色に秘められた巧みな力⑧ りんご 大塚薬報 2019, 3月, No.743, 28-31.
和田 昭盛、松浦 知和、古庄 律、山内 淳	学会報告	13位13C-レチニルエステルの効率的な合成法の開発 第361回脂溶性ビタミン総合研究委員会 東京 (2019/3/15)
Sakai K., Duan S., Wang X.-F., Fujii R., Yamano Y., Ikeuche T., Sasaki S.	学会報告	Solar Cells Based on Bacteriochlorophyll-a Derivatives with Different C17-Propionate Residues 日本化学会第99春季年会 神戸 (2019/3/18)
沖津 貴志、乾 綾花、牟田 絵美子、和田 昭盛	学会報告	イナミドのヨード環化反応を用いたナフタレン環の即時合成 日本薬学会第139年会 千葉 (2019/3/22)

山野 由美子、和田 岬、栃本 美優、竹田 僚平、和田 昭盛	学会報告	アミノ基を導入した非環式レチノイドの合成 日本薬学会第139年会 千葉 (2019/3/22)
山野 由美子、栃本 美優、和田 岬、山中 朝子、和田 昭盛	学会報告	11位をシスに固定したレチナールアナログの合成研究 日本薬学会第139年会 千葉 (2019/3/22)
山野 由美子、藤原 未都菜、和田 昭盛	学会報告	長波長光吸収チャンネルロドプシン作成を指向した3-メトキシ-3,4-ジデヒドロレチナール誘導体の合成 日本薬学会第139年会 千葉 (2019/3/22)
小山 智大、松田 一朗、佐藤 陽、沖津 貴志、山野 由美子、中川 公恵、長谷川 潤、和田 昭盛	学会報告	ジヒドロレチノイン酸類の合成と生物活性—その1— 日本ビタミン学会第71回大会鳥取 (2019/6/8)
松田 一朗、小山 智大、佐藤 陽、沖津 貴志、山野 由美子、中川 公恵、長谷川 潤、和田 昭盛	学会報告	ジヒドロレチノイン酸類の合成と生物活性—その2— 日本ビタミン学会第71回大会鳥取 (2019/6/8)
佐藤 大輝、廣田 佳久、鎌尾 まや、和田 昭盛、須原 義智	学会報告	レチノイン酸の側鎖構造を有する新規ビタミン誘導体の合成 日本ビタミン学会第71回大会 鳥取 (2019/6/8)
Okitsu T., Namura A., Kondo S., Tada S., Yanagida M., Wada A.	学会報告	Iodocyclization of Ynamides for the Construction of Medium-Sized Oxacycles 27th International Society of Heterocyclic Chemistry Congress Kyoto (2019/9/2)
山野 由美子、林 直人、濱田 裕子、和田 昭盛	学会報告	光学活性 α -カロテンの合成とHPLCによるエナンチオマー分離条件の確立 第33回カロテノイド研究談話会 千葉 (2019/9/22)
関 莊一郎、山野由美子、藤原 健太郎、狩野 竜一、藤井 律子	学会報告	新規シフォナキサンチン生合成中間体の蓄積条件と構造決定 第33回カロテノイド研究談話会 千葉 (2019/9/22)
高谷 直己、別府 史章、沖津 貴志、山野 由美子、和田 昭盛、宮下 和夫、細川 雅史	学会報告	アポフコキサンチノイドによる炎症抑制機構解析 第33回カロテノイド研究談話会 千葉 (2019/9/22)
山野 由美子、島田 篤、野中 香里、飯島 悠希、田辺 麻里、塚田 志帆、大嶋 梨愛、和田 昭盛	学会報告	Siphonaxanthinおよびloroxanthinの全合成 第45回反応と合成の進歩シンポジウム 倉敷 (2019/10/29)
沖津 貴志、堀家 有理紗、嶋澤 夏実、和田 昭盛	学会報告	ヨード環化反応によるp-アミノフェノール類の脱芳香族的三次元変換 第45回反応と合成の進歩シンポジウム 倉敷 (2019/10/29)
Seki S., Yamano Y., Fujiwara K., Kano R., Fujii R	学会報告	Accumulation of photosynthetic carotenoids in Codium fragile under different light regimes 3rd International Solar Fuels Conference / International Conference on Artificial Photosynthesis-2019 Hiroshima (2019/11/21)
Sasaki S., Duan S., Fujii R., Yamano Y., Wang X.-F	学会報告	Synthesis of bacteriochlorin-carotenoid conjugates and their application to solar cells 3rd International Solar Fuels Conference / International Conference on Artificial Photosynthesis-2019 Hiroshima (2019/11/23)
和田 昭盛	講演	共役系を延長したレチナール発色団を用いた新規チャンネルロドプシンの開発 第33回カロテノイド研究談話会 千葉 (2019/9/22)
Sakai K., Katsumi H., Kamano K., Yamauchi K., Hajima A., Morishita M., Sakane T., Yamamoto A.	論文	Biol. Pharm. Bull., 2019, 42(2), 273-279. doi: 10.1248/bpb.b18-00773. "Hepatic and Intrahepatic Targeting of Hydrogen Sulfide Prodrug by Bioconjugation" 査読有り
Teraoka R., Fukami T., Furuishi T., Nagase H., Ueda H., Tode C., Yutani R., Kitagawa S., Sakane T.	論文	Chem. Pharm. Bull., 2019, 67(9), 940-944. doi: 10.1248/cpb.c18-00812. "Improving the Solid-State Photostability of Furosemide by Its Cocrystal Formation" 査読有り
Kiguchiya A., Teraoka R., Sakane T., Yonemochi E.	論文	Chem. Pharm. Bull., 2019, 67(9), 945-952. doi: 10.1248/cpb.c18-00743. "A new method for classification of salts and cocrystals by using solid-state UV spectrophotometer" 査読有り
Alama T., Kusamori K., Morishita M., Katsumi H., Sakane T., Yamamoto A.	論文	Pharmaceutics, 2019, 11(4), 170-185. doi: 10.3390/pharmaceutics11040170. "Mechanistic Studies on the Absorption-Enhancing Effects of Gemini Surfactant on the Intestinal Absorption of Poorly Absorbed Hydrophilic Drugs in Rats" 査読有り
Sawangrat K., Yamashita S., Tanaka A., Morishita M., Kusamori K., Katsumi H., Sakane T., Yamamoto A.	論文	J. Pharm. Sci., 2019, 108(3), 1315-1325. doi: 10.1016/j.xphs.2018.10.043. "Modulation of Intestinal Transport and Absorption of Topotecan, a BCRP Substrate, by Various Pharmaceutical Excipients and Their Inhibitory Mechanisms of BCRP Transporter" 査読有り
Naito C., Yamaguchi T., Katsumi H., Kimura S., Kamei S., Morishita M., Sakane T., Kawabata K., Yamamoto A.	論文	J. Pharm. Sci., 2019, 108(11), 3524-3527. doi: 10.1016/j.xphs.2019.07.006. "Utility of three-dimensional skin from human-induced pluripotent stem cells as a tool to evaluate transdermal drug permeation." 査読有り
Hatake Y., Nakamura R., Konishi M., Sakane T., Saito M., Akizawa T.	論文	Helv. Chim. Acta, 2019, 5(9), e02454. doi: 10.1016/j.heliyon.2019.e02454. "Catalytides derived from the Box A region in the ANA/BTG3 protein cleave amyloid- β fragment peptide" 査読有り
Tsujimura M., Kusamori K., Katsumi H., Sakane T., Yamamoto A., Nishikawa M.	論文	Sci. Rep., 2019, 9(1), 18869. doi: 10.1038/s41598-019-55269-6. "Cell-based interferon gene therapy using proliferation-controllable, interferon-releasing mesenchymal stem cells" 査読有り
Yutani R., Haku R., Teraoka R., Tode C., Koide T., Kitagawa S., Sakane T., Fukami T.	論文	Crystals, 2019, 9(11), 553. doi: 10.3390/cryst9110553. "Comparative Evaluation of the Photostability of Carbamazepine Polymorphs and Cocrystals" 査読有り
田中 晶子、坂根 稔康	著書	肥満症に対する新規治療システム：鼻腔内投与による中分子ペプチドの脳内送達 180-187 (2019) CMC出版.
田中 晶子	総説	製剤機械技術学会誌, 2019, 28(1), 14-21. "鼻腔内投与型製剤の開発—吸収に対する製剤添加物の影響と脳内送達の可能性" 査読なし
田中 晶子	講演	鼻腔内投与による中分子ペプチドの脳内送達 創剤研究コンソーシアム2019 第2回研究会 京都 (2019/2/8)
古林 呂之	講演	点鼻剤の過去・現在・未来～薬物動態学・製剤学から点鼻剤を考える～ 第183回神戸西ブロック薬学研修会 兵庫 (2019/10/19)
山下 修吾、勝見 英正、田中 晶子、湯谷 玲子、古林 呂之、森下 将輝、山本 昌、坂根 稔康	学会報告	薬物の骨ターゲットングを目的としたデンドロン型高分子ミセル製剤の開発 日本薬学会第139年会 千葉 (2019/3/21)
勝見 英正、松浦 悟、鈴木 宏枝、平井 菜都子、林 英誉、越野 一博、樋口 隆弘、屋木 佑亮、木村 寛之、森下 将輝、坂根 稔康、山本 昌	学会報告	セリン修飾による腎臓標的化DDSの開発～腎臓の病巣部へピンポイントで集積する薬物担体の開発～ 日本薬学会第139年会 千葉 (2019/3/21)
田中 晶子、井上 大輔、勝見 英正、山本 昌、湯谷 玲子、古林 呂之、坂根 稔康	学会報告	生理活性ペプチドの鼻腔内投与による脳への送達と中枢疾患治療への応用 日本薬学会第139年会 千葉 (2019/3/22)

古林 呂之、田中 晶子、井上 大輔、小林 正樹、湯谷 玲子、坂根 稔康	学会報告	鼻腔内投与による α -Galactosylceramideの頸部リンパ節送達性改善に関する検討 日本薬学会第139年会 千葉 (2019/3/22)
穂原 裕奈、山本 和宏、水田 直美、丹田 雅明、伊藤 雄大、坂根 稔康、國正 淳一、濱口 常夫、北河 修治、矢野 育子	学会報告	化学療法誘発性の悪心・嘔吐予防目的のオランザピン投与量に関する検討 日本薬学会第139年会 千葉 (2019/3/22)
湯谷 玲子、河野 真希、安福 泉、今坂 優希、山路 佑太、田中 晶子、古林 呂之、坂根 稔康	学会報告	半固形製剤の混合性に影響する因子の検討 ―軟膏、基剤間の混合性の比較― 日本薬学会第139年会 千葉 (2019/3/23)
柴谷 恭佑、津田 香央莉、田中 晶子、湯谷 玲子、古林 呂之、坂根 稔康	学会報告	薬物の消化管吸収に対する消化管内容物の影響 日本薬剤学会第34年会 富山 (2019/5/16)
田中 晶子、別當 華歩、井上 大輔、湯谷 玲子、古林 呂之、坂根 稔康	学会報告	鼻腔内投与後の脳への薬物移行機構の解析 日本薬剤学会第34年会 富山 (2019/5/18)
井上 大輔、田中 晶子、湯谷 玲子、古林 呂之、坂根 稔康	学会報告	鼻腔内投与後の脳への薬物移行特性の解析：脳の部位別動態に基づく評価 日本薬剤学会第34年会 富山 (2019/5/18)
古林 呂之、清原 万美子、井上 大輔、森山 圭、田中 晶子、湯谷 玲子、坂根 稔康	学会報告	ラマン分光法を利用した粉末状薬物の経鼻吸収性推定法の構築III～培養細胞上での結晶溶解解析～ 日本薬剤学会第34年会 富山 (2019/5/18)
辻中 映美、西村 菜菜、田中 晶子、湯谷 玲子、古林 呂之、坂根 稔康、四方田 千佳子	学会報告	ロキソプロフェン含有一般用医薬品の溶出挙動の比較 日本薬剤学会第34年会 富山 (2019/5/18)
西村 菜菜、辻中 映美、田中 晶子、湯谷 玲子、古林 呂之、坂根 稔康、四方田 千佳子	学会報告	一般用単味ロキソプロフェン錠の溶出挙動の比較 日本薬剤学会第34年会 富山 (2019/5/18)
松田 芳明、田中 晶子、田村 大樹、井上 大輔、勝見 英正、山本 昌、湯谷 玲子、古林 呂之、坂根 稔康	学会報告	鼻腔内投与されたOxytocinの脳内移行特性 第35回日本DDS学会学術集会 神奈川 (2019/7/4)
田中 晶子、山本 有理、西川 絵里、井上 大輔、湯谷 玲子、古林 呂之、坂根 稔康	学会報告	鼻腔より直接脳内に移行した薬物の脳内動態 第35回日本DDS学会学術集会 神奈川 (2019/7/4)
古林 呂之、大島 千尋、井上 大輔、田中 晶子、湯谷 玲子、坂根 稔康	学会報告	α -Galactosylceramideの鼻腔内投与による免疫活性化に関する検討 第35回日本DDS学会学術集会 神奈川 (2019/7/4)
内藤 千尋、山口 朋子、勝見 英正、木村 思瑤、亀井 咲知、森下 将輝、坂根 稔康、川端 健二、山本 昌	学会報告	ヒトiPS細胞由来三次元培養細胞皮膚を用いた経費吸収性評価系の構築 第35回日本DDS学会学術集会 神奈川 (2019/7/4)
田村 陽水、勝見 英正、清水 勝、木下 貴恵、田中 晶子、森下 将輝、山本 昌	学会報告	腹腔内化学療法による腹膜播種治療の効率化を目指したバクリタセル搭載アルブミンゲルの開発 第35回日本DDS学会学術集会 神奈川 (2019/7/4)
阿部 美幸、勝見 英正、田中 晶子、中村 恵理、林 実茄、小西 敦子、武上 茂彦、北出 達也、森下 将輝、山本 昌	学会報告	イオン液体を含む経皮吸収製剤を用いた片頭痛治療薬 Sumatriptan の経皮吸収性の改善 第35回日本DDS学会学術集会 神奈川 (2019/7/4)
Tamura H., Tanaka A., Matsuda Y., Katsumi H., Yamamoto A., Yutani R., Furubayashi T., Sakane T.	学会報告	Transnasal delivery of oxytocin to the brain for the treatment of autism spectrum disorder 第3回日韓若手薬剤学研究者ワークショップ 千葉 (2019/7/10)
Kanayama H., Shibatani K., Tanaka A., Yutani R., Furubayashi T., Sakane T.	学会報告	Effects of gastrointestinal content on the membrane transport of drugs 第3回日韓若手薬剤学研究者ワークショップ 千葉 (2019/7/10)
田中 晶子、川上 葉里、藩守 一朗、山本 武、古川 健一郎、湯谷 玲子、古林 呂之、坂根 稔康	学会報告	ステロイド軟膏と保湿軟膏剤との併用：塗布の順番とステロイドの経皮吸収性との関係 医療薬学フォーラム2019 広島 (2019/7/14)
幡川 祐資、田中 晶子、中村 里菜、小西 元美、秋澤 俊史、坂根 稔康	学会報告	鼻腔内投与による Catalyide の脳内送達 第32回バイオメディカル分析科学シンポジウム 東京 (2019/8/23)
柴谷 恭佑、津田 佳央莉、金山 裕孝、田中 晶子、湯谷 玲子、古林 呂之、坂根 稔康	学会報告	薬物の消化管吸収に対する消化管内容物の影響 第69回日本薬学会関西支部総会・大会 兵庫 (2019/10/12)
西川 絵理、田中 晶子、山本 有理、別當 華歩、高橋 咲恵、井上 大輔、湯谷 玲子、古林 呂之、坂根 稔康	学会報告	鼻腔より直接脳内に移行した薬物の脳内動態 第69回日本薬学会関西支部総会・大会 兵庫 (2019/10/12)
三浦 真由美、堀井 みなみ、佐藤 美佳、則松 明莉、廣瀬 理紗子、湯谷 玲子、井上 喬允、宇野 明、矢野 博子、坂根 稔康	学会報告	外用剤の適用方法が薬物の皮膚透過性に及ぼす影響 第69回日本薬学会関西支部総会・大会 兵庫 (2019/10/12)
湯谷 玲子、山地 佑太、今坂 優希、河野 真希、安福 泉、田中 晶子、古林 呂之、坂根 稔康	学会報告	半固形製剤の混合性に影響する因子の検討 (2) ―同一基剤間および異なる基剤間の混合性の比較― 第29回日本医療薬学会年会 福岡 (2019/11/2)
高尾宜久	講演	お薬を飲むときに気をつける事 地域拠点型一般介護予防事業における介護予防講座 神戸 (2019/6/5)
高尾宜久	講演	1.「スポーツファーマシスト」薬剤師がスポーツに関わるために～東京オリンピックをひかえた今、一緒に考えてみませんか～ 2.健康サポート薬局に向けて地域連携活動の取り組みの第一歩 神戸薬科大学同窓会東海生涯研修企画委員会第70回研修会 名古屋市 (2019/7/21)
高尾宜久	講演	薬の正しい使い方 地域拠点型一般介護予防事業における介護予防講座 神戸 (2019/8/26)
Sugawara K., Nomura K., Okada Y., Sugano A., Matsumoto M., Takarada T., Takeuchi A., Awano H., Hirota Y., Nishio H., Takaoka Y., Ogawa W.	論文	J. Diabetes Investig., 2019, 10(3), 680-684. doi: 10.1111/jdi.12960. "In silico and in vitro analyses of the pathological relevance of the R258H mutation of hepatocyte nuclear factor 4 α identified in maturity-onset diabetes of the young type 1" 査読あり
Katsuda T., Matsuzaki J., Yamaguchi T., Yamada Y., Prieto-Vila M., Hosaka K., Takeuchi A., Saito Y., Ochiya T.	論文	Elife, 2019, 8, e47313. doi: 10.7554/eLife.47313. "Generation of human hepatic progenitor cells with regenerative and metabolic capacities from primary hepatocytes" 査読あり
Takaoka Y., Takeuchi A., Sugano A., Miura K., Ohta M., Suzuki T., Kobayashi D., Kimura T., Sato J., Ban N., Nishio H., Sakaeda T.	論文	PLoS One, 2019, 14(11), e0225244. doi: 10.1371/journal.pone.0225244. "Establishment of the experimental procedure for prediction of conjugation capacity in mutant UGT1A1" 査読あり
Nishioka T., Endo-Umeda K., Ito Y, Shimoda A., Takeuchi A., Tode C., Hirota Y., Osakabe N., Makishima M., Suhara Y.	論文	Molecules, 2019, 24(23), E43. doi: 10.3390/molecules24234316. "Synthesis and In Vitro Evaluation of Novel Liver X Receptor Agonists Based on Naphthoquinone Derivatives" 査読あり

Niba E.T.E., Rochmah M.A., Harahap N.I.F., Awano H., Morioka I., Iijima K., Takeshima Y., Saito T., Saito K., Takeuchi A., Lai P.S., Bouike Y., Matsuo M., Nishio H., Shinohara M.	論文	Kobe J. Med. Sci., 2019, 65(2), E44-E48. "Spinal Muscular Atrophy: New Screening System with Real-Time mCOP-PCR and PCR-RFLP for SMN1 Deletion" 査読あり
Niba E.T.E., Rochmah M.A., Harahap N.I.F., Awano H., Morioka I., Iijima K., Takeshima Y., Saito T., Saito K., Takeuchi A., Lai P.S., Bouike Y., Matsuo M., Nishio H., Shinohara M.	論文	Kobe J. Med. Sci., 2019, 65(2), E49-E53. "Spinal Muscular Atrophy: Advanced Version of Screening System with Real-Time mCOP-PCR and PCR-RFLP for SMN1 Deletion" 査読あり
Wijaya Y.O.S., Niba E.T.E., Rochmah M.A., Harahap N.I.F., Awano H., Takeshima Y., Saito T., Saito K., Takeuchi A., Lai P.S., Bouike Y., Nishio H., Shinohara M.	論文	Kobe J. Med. Sci., 2019, 65(2), E54-E58. "Nested PCR Amplification Secures DNA Template Quality and Quantity in Real-time mCOP-PCR Screening for SMA" 査読あり
Takeuchi A., Tode C., Nishino M., Wijaya Y.O.S., Niba E.T.E., Awano H., Takeshima Y., Saito T., Saito K., Lai P.S., Bouike Y., Nishio H., Shinohara M.	論文	Kobe J. Med. Sci., 2019, 65(3), E95-E99. "Newborn Screening for Spinal Muscular Atrophy: DNA Preparation from Dried Blood Spot and DNA Polymerase Selection in PCR" 査読あり
Shinohara M., Niba E.T.E., Wijaya Y.O.S., Takayama I., Mitsuishi C., Kumasaka S., Kondo Y., Takatera A., Hokuto I., Morioka I., Ogiwara K., Tobita K., Takeuchi A., Nishio H., for the SMA-NBS PILOT STUDY Group	論文	Int. J. Neonatal Screen., 2019, 5(4), 41. doi.org/10.3390/ijns040041. "A novel system for spinal muscular atrophy screening in newborns: Japanese pilot study" 査読あり
都出 千里、竹内 敦子、岡本 健太郎、西尾 久英、齊藤 利雄、篠原 正和	総説	Precision Medicine, 2019, 2(13), 1275-1282. "脊髄性筋萎縮症治療薬剤の開発"
倉重 毅志、大下 智彦、竹内 敦子、岡本 健太郎、西尾 久英、齊藤 利雄、篠原 正和	総説	BIO Clinica, 2019, 34(10), 1054-1061. "脊髄性筋萎縮症: SMN1 遺伝子非欠失患者の解析－ SMN1 遺伝子内変異p.Ala2Val に関連して－"
岡本 健太郎、竹内 敦子、西尾 久英、加藤 雅子、坊池 芳裕、齊藤 利雄、篠原 正和	総説	BIO Clinica, 2019, 34(11), 1165-1172. "脊髄性筋萎縮症の医学的管理"
高田 麻衣花、山田 泰弘、竹内 敦子	学会報告	LC-MS/MS 法を用いた肝細胞中主要CYP 分子種誘導能評価 日本薬学会第139年会 千葉 (2019/3/21)
若林 愛奈、竹内 敦子	学会報告	マウス尿中のprostaglandin 代謝物の定量法の確立 日本薬学会第139年会 千葉 (2019/3/21)
西野 真吉、都出 千里、竹内 敦子、西尾 久英	学会報告	濾紙血DNA を用いた新生児スクリーニングシステムの開発 日本薬学会第139年会 千葉 (2019/3/21)
藤本 貴大、吉野 健一、松尾 雅文、竹内 敦子	学会報告	パイオマーカー探索のための尿中タンパク質のプロテオーム解析 日本薬学会第139年会 千葉 (2019/3/21)
吉野 健一、西原 萌華、上田 修司、竹内 敦子	学会報告	低親和性ビオチン結合タンパク質を用いたペプチド捕捉型BioID (近位依存性ビオチン標識) 法による新規タンパク質間相互作用マッピング法 第67回質量分析総合討論会 つくば (2019/5/15)
竹内 敦子、若林 愛奈、高田 麻衣花、藤本 貴大、西野 真吉、裏出 良博	学会報告	マウス採尿法によるプロスタグランジン代謝物の定量操作の工夫について 第67回質量分析総合討論会 つくば (2019/5/16)
竹内 敦子、都出 千里、西尾 久英	学会報告	Survival of motor neuron (SMN) タンパク質の定量 第44回日本医用マスメットル学会名古屋 (2019/9/13)
都出 千里、眞岡 孝至、杉山 健二郎、竹内 敦子	学会報告	ζ-Carotene の合成研究－その1－ 第33回カロテノイド研究談話会 千葉 (2019/9/22-23)
西原 萌華、上田 修司、吉野 健一、竹内 敦子、山之上 稔、白井 康仁	学会報告	BioID法を用いたHSPB5の新規相互作用分子の探索 第42回日本分子生物学会年会 福岡 (2019/12/6)
Masuda Y., Nakayama Y., Mukae T., Tanaka A., Naito K., Konishi M.	論文	Int. immunopharmacol. 67:408-416. doi: 10.1016/j.intimp.2018.12.039. "Maturation of dendritic cells by maitake α-glucan enhances anti-cancer effect of dendritic cell vaccination" 査読有り
図師 まゆ香、豊田 祥恵、長久保 智希、中村 祐馬、増田 有紀、迎 武紘、中山 喜明、伊藤 信行、小西 守周	学会報告	分泌因子 Neudesin のがん免疫抑制作用について 日本薬学会第139年会 千葉 (2019/3/21)
吉野 美波、濱本 あかり、岡田 瞳美、迎 武紘、増田 有紀、中山 喜明、伊藤 信行、小西 守周	学会報告	Refeeding時の肝臓におけるFgf21の意義 日本薬学会第139年会 千葉(2019/3/22)
迎 武紘、柿木 一成、後藤 春花、太田 紘也、増田 有紀、中山 喜明、伊藤 信行、小西 守周	学会報告	自己/傍分泌因子 Neudesin による神経活性調節機構の解明と KO マウス表現系解析 日本薬学会第139年会 千葉(2019/3/23)
阿部 菜里、木村 円香、久保 まりな、中牟田 絢佳、松井 佑莉、米田 茉希子、迎 武紘、増田 有紀、中山 喜明、小西 守周	学会報告	分泌型ヘムタンパク質Neudesinによる赤血球代謝調節機構の解析 第20回Pharmacology-Hematologyシンポジウム 東京(2019/6/8)
阿部 佑亮、松前 憲幸、図師 まゆ香、豊田 祥恵、増田 有紀、迎 武紘、中山 喜明、伊藤 信行、小西 守周	学会報告	分泌因子Neudesinのがん免疫抑制作用について 第69回 日本薬学会関西支部総会・大会 兵庫(2019/10/12)
上村 祐毅、阿部 菜里、米田 茉希子、立川 奈都季、迎 武紘、増田 有紀、中山 喜明、伊藤 信行、小西 守周	学会報告	分泌因子Neudesinはマクロファージによる老化赤血球貪食を調節する 第69回 日本薬学会関西支部総会・大会 兵庫(2019/10/12)
Mitsumoto Y., Sato R., Tagawa N., Kato I.	論文	J. Nutr. Sci. Vitaminol. (Tokyo). 2019;65(2):202-204. doi: 10.3177/jnsv.65.202. "Rubiscolin-6, a δ-opioid peptide from spinach RuBisCO, exerts antidepressant-like effect in restraint-stressed mice." 査読あり
Kuwahara A., Kuwahara Y., Kato I., Kawaguchi K., Harata D., Asano S., Inui T., Marunaka Y.	論文	Am J Physiol Gastrointest Liver Physiol. 2019 Jun 1;316(6):G785-G796. doi: 10.1152/ajpgi.00333.2018. " Xenin-25 induces anion secretion by activating noncholinergic secretomotor neurons in the rat ileum. 査読あり
Kairupan T.S., Cheng K.C., Asakawa A., Amitani H., Yagi T., Ataka K., Rokot N.T., Kapantow N.H., Kato I., Inui A.	論文	J Food Drug Anal. 2019 Jan;27(1):266-274. doi: 10.1016/j.jfda.2018.06.012. "Rubiscolin-6 activates opioid receptors to enhance glucose uptake in skeletal muscle." 査読あり

Kimura M., Kosuge K. Ko Y., Tagawa N., Kato I., Uchida Y.	プロシーディング	Peptide Science. 2018: Proceedings of 10th international Peptide Symposium / The 55th Japanese peptideSymposium Shiroh Futaki and Katsumi Matsuzaki (Editors) The Japanese peptide Society, page 39 (2019). "Potent antibacterial activity of peptides designed from salusin-β, an and HIV-1 Tat (49-57). 査読あり
Kuwahara A., Kuwahara Y. Kato I. Inui T., Marunaka Y.	学会報告	Secretory reflex pathway of Xenin-25 in the rat ileum. 9th Federation of the Asian and Oceanian Physiological Societies Congress, KOBE(2019/3/29)
Kuwahara Y., Kato I., Kuwahara A., Marunaka Y., Inui T.	学会報告	Neurogenic relaxation of Xenin on spontaneous circular muscle contractions in rat distal colon. 9th Federation of the Asian and Oceanian Physiological Societies Congress, KOBE(2019/3/29) 査読あり
原田大毅、浅野真司、桑原厚和、加藤郁夫、乾利夫、丸中良典	学会報告	ラット結腸における短鎖脂肪酸によるイオン分泌の神経反射回路。第69回日本薬学会関西支部総会・大会、神戸(2019/10/12)
多河 典子、浅川 明弘、藤波 綾、乾 明夫、加藤 郁夫	学会報告	マウス視床下部及び脂肪組織でのNUCB2 mRNA発現について 第92回日本内分泌学会学術総会 仙台 (2019/5/10)
多河 典子、浅野 真司、中張 隆司、桑原 厚和、丸中良典、加藤 郁夫	学会報告	腸管ペプチドxeninのELISA法の確立とマウス小腸組織での定量 第40回日本肥満学会東京 (2019/11/3)
安岡 由美	講演	大気中ラドンが示す地下の異変 立命館大学放射線業務従事者教育訓練 滋賀 (2019/4/3)
三浦 直、安岡 由美、大桃 善朗、長濱 裕幸、武藤 潤、岩田 大地、向 高弘	学会報告	2018年大阪府北部地震前後の大気中ラドン濃度変動の検討 第56回アイソトープ・放射線研究発表会 東京 (2019/7/4)
三浦 直、吉井 未来、安岡 由美、床次 眞司、長濱 裕幸、向 高弘	学会報告	監視モニタによる空気中ラドン濃度測定 of 検討 第69回日本薬学会関西支部総会・大会 神戸 (2019/10/12)
Wakabayashi A., Yasuoka Y., Janik M., Nagahama H., Fukuhori N., Mori Y., Arai Y., Fujii S., Mukai T.	論文	Radioisotopes, 2019, 68(5), 317-329, doi: 10.3769/radioisotopes.68.317 "Derivation and validity evaluation of calibration factors for activated-charcoal radon collectors" 査読有り
Higuchi S., Kamishiro Y., Ishihara M., Yasuoka Y., Mori Y., Hosoda M., Iwaoka K., Tokonami S., Takahashi R., Janik M., Muto J., Nagahama H., Mukai T.	論文	Radiat. Prot. Dosim., 2019, 184(3-4), 426-429, doi:10.1093/rpd/ncz070 "Evaluation of a radon air monitor in the measurement of radon concentration in water in comparison with a liquid scintillation counter" 査読有り
Oh-hashii K., Matsumoto S., Sakai T., Hirata Y., Okuda K., Nagasawa H.	論文	Appl. Biochem. Biotechnol. 2019, 188(4) 1009–1021. doi: 10.1007/s12010-019-02969-4. "Effects of 2-(2-chlorophenyl)ethylbiguanide on ERAD component expression in HT-29 cells under a serum- and glucose-deprived condition" 査読有り
奥田 健介	講演	神戸大学×神戸薬科大学 合同シンポジウム がんのストレス応答系を標的とするケミカルバイオロジー研究 神戸 (2019/2/22)
Sakai T., Oh-hashii K., Matsuo Y., Hirota K., Okuda K., Hirayama T., Nagasawa H.	学会報告	11th AACR-JCA Joint Conference on Breakthroughs in Cancer Research Biology to Precision Medicine, Structure-activity relationship study of biguanide derivatives for tumor microenvironment modulator, Ka'anapali Maui, Hawaii, USA (2019/2/8–11)
永澤 秀子、境 崇行、小池 晃太、奥田 健介、平山 祐、辻 美恵子	学会報告	日本薬学会第139年会 がん微小環境モジュレーターの新出をめざす創薬研究 千葉 (2019/3/20–23)
高木 晃、大橋 憲太郎、平田 洋子、奥田 健介	学会報告	第25回癌治療増感研究会in飛騨高山 小胞体ストレス応答を制御する化合物群の創製研究 高山 (2019/6/1)
奥田 健介	講演	第17回関西バイオ創薬研究会 ー最先端アカデミア研究と今後の課題ー 大阪 (2019/7/19)
Takagi A., Oh-hashii K., Okuda K.	学会報告	27th International Society of Heterocyclic Chemistry Congress, Development of Drugs for Modulating Endoplasmic Reticulum Stress Response, Kyoto (2019/9/1–6)
Ikawa T., Kawabata M., Takagi A., Akai S.	学会報告	27th International Society of Heterocyclic Chemistry Congress, Regioselective Synthesis of Fused Heterocycles Using 2-Silyl-3,4-pyridine, Kyoto (2019/9/1–6)
臼口 和希、高木 晃、奥田 健介	学会報告	第69回 日本薬学会関西支部総会・大会 小胞体ストレス応答を標的とする創薬化学研究 神戸 (2019/10/12)
井川 貴詞、川端 将暉、高木 晃、赤井 周司	学会報告	第45回反応と合成の進歩シンポジウム ーライフサイエンスを志向した理論、反応および合成ー 縮合複素環化合物合成を指向する2-シリルピリジンとアジドとの(3+2)付加環化反応 倉敷 (2019/10/28–29)
Hosokawa M., Tanaka S., Ueda K., Iwakawa S., Ogawara KI.	論文	Biochem. Biophys. Res. Commun., 2019, 509(1), 249-254. doi: 10.1016/j.bbrc.2018.12.115."Decitabine exerted synergistic effects with oxaliplatin in colorectal cancer cells with intrinsic resistance to decitabine" 査読あり
中村 瞳子、福永 誠二、松永 千晶、上田 久美子、田中 章太、細川 美香、岩川 精吾、大河原 賢一	学会報告	ヒト大腸がんHCT116細胞におけるイマチニブのENT1阻害効果に及ぼすアルブミンの影響 日本薬学会第139年会 千葉 (2019/03/21)
生木 梨紗子、細川 美香、田中 章太、上田 久美子、岩川 精吾、大河原 賢一	学会報告	DNAメチル基転移酵素阻害剤デシタビンに対する耐性を改善する物質の探索 日本薬学会第139年会 千葉 (2019/03/22)
宮本 拓海、田中 章太、中川 愛子、細川 美香、上田 久美子、岩川 精吾、大河原 賢一	学会報告	ヒト大腸がん細胞におけるオキサリプラチン感受性を決定するmicroRNAの探索 日本薬学会第139年会 千葉 (2019/03/22)
鎌尾 まや、岩川 精吾、北河 修治	学会報告	神戸薬科大学における「健康食品領域研修認定薬剤師制度」に基づく研修プログラム受講者の調査 日本薬学会第139年会 千葉 (2019/03/22)
秦 有優美、細川 美香、後藤 香菜子、田中 章太、上田 久美子、岩川 精吾、大河原 賢一	学会報告	イオン交換基と疎水基を併せ持つ逆相系カラムによるヌクレオチドの分析 移動相条件による比較 日本薬学会第139年会 千葉 (2019/03/23)
後藤 香菜子、細川 美香、後川 響、秦 有優美、田中 章太、上田 久美子、岩川 精吾、大河原 賢一	学会報告	逆相HPLCにおける親水性化合物の分析条件の最適化 日本薬剤学会第34年会 富山 (2019/05/16)
中川 愛子、田中 章太、宮本 拓海、細川 美香、上田 久美子、岩川 精吾、大河原 賢一	学会報告	ヒト大腸がん細胞におけるオキサリプラチン感受性を反映するエクソソーム中microRNAの探索 日本薬剤学会第34年会 富山 (2019/05/16)
田中 章太、加藤 結衣、辰巳 愛、浅海 志帆、今井 亮二、細川 美香、上田 久美子、岩川 精吾、大河原 賢一	学会報告	ヒト大腸がん細胞におけるポリノスタットによるオキサリプラチン耐性の改善 ポリノスタットによるNr2f2の核内移行の阻害 第69回日本薬学会関西支部大会 神戸 (2019/10/12)

上田 久美子、田中 章太、細川 美香、岩川 精吾、大河原 賢一	学会報告	ヒト大腸がんHCT116細胞におけるデシタピンの取り込みの速度論解析 膜透過クリアランスと代謝クリアランスを含むコンパートメントモデル 第69回日本薬学会関西支部大会 神戸 (2019/10/12)
Hosokawa M., Tanaka S., Ueda K., Iwakawa S., Ogawara KI.	論文	Biochem. Biophys. Res. Commun., 2019, 509, 249-254. doi: 10.1016/j.bbrc.2018.12.115. "Decitabine exerted synergistic effects with oxaliplatin in colorectal cancer cells intrinsic resistance to decitabine" 査読有り
中野 晶、檜垣 和孝、大河原 賢一	学会報告	光増感剤内封ポリマーナノ粒子製剤を用いた光線力学療法の抗腫瘍効果に及ぼす血管新生阻害剤前投与の影響 日本薬学会第139年会 千葉 (2019/3/21)
中村 瞳子、福永 誠二、松永 千晶、上田 久美子、田中 章太、細川 美香、岩川 精吾、大河原 賢一	学会報告	ヒト大腸がんHCT116 細胞におけるイマチニブのENT1 阻害効果に及ぼすアルブミンの影響 日本薬学会第139年会 千葉 (2019/3/21)
宮本 拓海、田中 章太、中川 愛子、細川 美香、上田 久美子、岩川 精吾、大河原 賢一	学会報告	ヒト大腸がん細胞におけるオキサリプラチン感受性を決定するmicroRNAの探索 日本薬学会第139年会 千葉 (2019/3/22)
生木 梨紗子、細川 美香、田中 章太、上田 久美子、岩川 精吾、大河原 賢一	学会報告	DNAメチル基転移酵素阻害剤デシタピンに対する耐性を改善する物質の探索 日本薬学会第139年会 千葉 (2019/3/22)
秦 有優美、細川 美香、後藤 香菜子、田中 章太、上田 久美子、岩川 精吾、大河原 賢一	学会報告	イオン交換基と疎水基を併せ持つ逆相系カラムによるヌクレオチドの分析:移動相条件による比較 日本薬学会第139年会 千葉 (2019/3/23)
宮里 萌花、小林 紘子、前田 寛聡、三宅 正晃、大河原 賢一、檜垣 和孝	学会報告	ポリアミン誘導体を用いた新規吸収改善固形製剤開発のための基礎的研究 日本薬剤学会第34回年会 富山 (2019/5/16)
住元 祐介、大川 慎也、大河原 賢一、檜垣 和孝	学会報告	難水溶性ー難脂溶性薬物のSelf-nanoemulsifying Drug Delivery System (SNEDDS) 製剤化に関する基礎的研究 日本薬剤学会第34回年会 富山 (2019/5/16)
近藤 啓、大河原 賢一	講演	脳内薬物デリバリーの現状、課題、将来展望について考える 日本薬剤学会第34回年会 富山 (2019/5/16)
後藤 香菜子、細川 美香、後川 響、秦 有優美、田中 章太、上田 久美子、岩川 精吾、大河原 賢一	学会報告	逆相HPLCにおける親水性化合物の分析条件の最適化 日本薬剤学会第34回年会 富山 (2019/5/16)
中川 愛子、田中 章太、宮本 拓海、細川 美香、上田 久美子、岩川 精吾、大河原 賢一	学会報告	ヒト大腸がん細胞におけるオキサリプラチン感受性を反映するエクソソーム中microRNAの探索 日本薬剤学会第34回年会 富山 (2019/5/16)
櫻井 文教、平田 聖也、大河原 賢一、水口 裕之	学会報告	腫瘍溶解性ウイルスであるレオウイルスの前投与は、PEG修飾リポソームの腫瘍集積性を向上させる 第35回日本DDS学会 神奈川 (2019/7/4)
Hosokawa M., Goto K., Tanaka S., Ueda K., Iwakawa S., Ogawara KI.	学会報告	Optimization of analytical conditions for hydrophilic compounds by reversed-phase HPLC The 3rd Workshop for Korea-Japan Young Scientists on Pharmaceuticals Chiba (2019/7/10)
Sakurai F., Hirata S., Kurisu N., Ogawara KI., Mizuguchi H.	学会報告	Enhanced tumor accumulation of PEGylated liposomes by pretreatment with oncolytic reovirus in tumor-bearing mice. 第25回日本遺伝子細胞治療学会 東京 (2019/7/21-22)
田中 章太、加藤 結衣、辰巳 愛、浅海 志帆、今居 亮二、細川 美香、上田 久美子、岩川 精吾、大河原 賢一	学会報告	ヒト大腸がん細胞におけるポリノスタットによるオキサリプラチン耐性の改善ーポリノスタットによるNr2fの核内移行の阻害ー 第69回日本薬学会近畿支部総会・大会 神戸 (2019/10/12)
上田 久美子、田中 章太、細川 美香、岩川 精吾、大河原 賢一	学会報告	ヒト大腸がんHCT116細胞におけるデシタピンの取り込みの速度論解析ー膜透過クリアランスと代謝クリアランスを含むコンパートメントモデルー 第69回日本薬学会近畿支部総会・大会 神戸 (2019/10/12)
Kondo K., Kawatsu S., Senoo R., Ogawara KI., Maruyama M., Higaki K.	学会報告	Analysis and Prediction of Oral Absorption Behavior of Poorly Soluble Drugs Ibuprofen and Raloxifene 第34回日本薬物動態学会 茨城 (2019/12/10-12)
Nakamura H., Tsukano C., Yoshida T., Yasui M., Yokouchi S., Kobayashi Y., Igarashi M., Takemoto Y.	論文	J. Am. Chem. Soc. 2019, 141, 8527-8540."Total Synthesis of Caprazamycin A: Practical and Scalable Synthesis of syn-β-Hydroxyamino Acids and Introduction of a Fatty Acid Side Chain to 1,4-Diazepanone" 査読あり
Konishi K., Takeda N., Yasui M., Matsuzaki H., Miyata O., Ueda M.	論文	J. Org. Chem. 2019, 84, 14320-14329."Copper-Catalyzed Cycloisomerization of Cyclopropenylimine for Synthesis of Pyrroles" 査読あり
Takeda N., Arisawa N., Miyamoto M., Kobori Y., Shinada T., Miyata O., Ueda M.	論文	Org. Chem. Front. 2019, 6, 3721-3724."Reagent-controlled regiodivergence in the [3,3]-sigmatropic rearrangement of N-(acyloxy)enamides" 査読あり (Front cover)
安井基博	総説	YAKUGAKU ZASSHI, 2019, 139, 1259-1265. 「全シス置換シクロプロパン構築法の確立とAvenaolの全合成」 査読あり
小西恵地、武田紀彦、上田昌史	学会報告	アルキンを有するヒドラジドの環拡大を伴う閉環反応の開発 第14回六甲有機合成研究会 神戸(2019/1/12)
武田紀彦、松本由貴、折原琴美、上田昌史	学会報告	Nーイミノラクタムの求核付加-環縮小反応の開発 日本薬学会第139年会 千葉 (2019/3/21)
松崎大力、伊藤勇太、野久保名菜恵、八幡菜由、武田紀彦、上田昌史	学会報告	共役ヒドラゾンのβ位プロトン化を駆動力としたピラゾール合成 日本薬学会第139年会 千葉(2019/3/22)
武田紀彦、二木恵里佳、宮田興子、上田昌史	学会報告	極性転換反応を利用したγー置換アミド類合成法の開発 日本薬学会第139年会 千葉(2019/3/23)
小西恵地、奥平仁美、三木香苗、武田紀彦、上田昌史	学会報告	アルキンを有するヒドラジドの環拡大を伴う閉環反応の開発 日本薬学会第139年会 千葉(2019/3/23)
武田紀彦、二木恵里佳、宮田興子、上田昌史	学会報告	アミドの極性転換反応：α位およびγ位への求核剤導入法の開発 第17回次世代を担う有機化学シンポジウム 東京(2019/6/1)
安井基博	学会報告	Avenaolの全合成と不斉γ-アルコキシピテノリド合成法の開発 第15回六甲有機合成研究会 神戸(2019/8/3)
武田紀彦、松本由貴、安井基博、上田昌史	学会報告	N-イミノラクタムの求核付加ー環縮小反応を利用したピロリジン合成法の開発 第39回有機合成若手セミナー 堺 (2019/8/8)
武田紀彦、木戸友策、岸本一希、安井基博、上田昌史	学会報告	連続ヘテロ原子を有するラクタムを利用したアルキン導入を伴う連続反応の開発 第39回有機合成若手セミナー 堺 (2019/8/8)
松崎大力、武田紀彦、安井基博、上田昌史	学会報告	ヒドラゾンの極性転換を利用した含窒素ヘテロ環の新規合成法の開発 第39回有機合成若手セミナー 堺(2019/8/8)
Konishi K., Yasui M., Takeda N., Ueda M.	学会報告	Copper-Catalyzed Synthesis of Multisubstituted Pyrroles by Cycloisomerization of Cyclopropenyl Oxime Ether, 27th International Society of Heterocyclic Chemistry Congress, Kyoto(2019/9/2)
Matsuzaki H., Ito Y., Nokubo N., Yawata M., Takeda N., Ueda M.	学会報告	Synthesis of pyrazoles from conjugated hydrazone through acid-promoted β-protonation/nucleophilic addition/cyclization/aromatization sequence, 27th International Society of Heterocyclic Chemistry Congress, Kyoto(2019/9/2)
松本由貴、武田紀彦、安井基博、上田昌史	学会報告	N-イミノラクタムの求核付加ー環縮小反応の開発 第69回日本薬学会関西支部総会・大会 神戸(2019/10/12)

木戸友策、武田紀彦、安井基博、上田昌史	学会報告	ラクタム類へのアルキン導入を伴う連続反応の開発 第69回日本薬学会関西支部総会・大会 神戸(2019/10/12)
鈴木世晋、松崎大力、武田紀彦、安井基博、上田昌史	学会報告	ヒドラゾンを利用した形式的[3+2]付加環化反応によるトリアゾール合成 第69回日本薬学会関西支部総会・大会 神戸(2019/10/12)
小西恵地、奥平仁美、三木香苗、安井基博、武田紀彦、上田昌史	学会報告	アルキンを有するヒドラジドを用いた縮環型ピラズロン骨格構築法の開発 第69回日本薬学会関西支部総会・大会 神戸(2019/10/12)
武田紀彦、木戸友策、岸本一希、安井基博、上田昌史	学会報告	連続ヘテロ原子を有するラクタムを利用したアルキン導入を伴う連続反応の開発 第45回反応と合成の進歩シンポジウム 岡山(2019/10/28)
Konishi K., Yasui M., Takeda N., Ueda M.	学会報告	Copper-Catalyzed Synthesis of Multisubstituted Pyrroles by Cycloisomerization of Cyclopropenyl Oxime Ether, International Joint Symposium on Synthetic Organic Chemistry, Awaji(2019/11/22)
Matsuzaki H., Ito Y., Takeda N., Yasui., Ueda M.	学会報告	Synthesis of pyrazoles from conjugated hydrazone through acid-promoted β -protonation/nucleophilic addition/cyclization/aromatization sequence, International Joint Symposium on Synthetic Organic Chemistry, Awaji(2019/11/22)
上田昌史	講演	連続するヘテロ原子を活用した複素環合成 第11回徳島文理大学薬学部学術講演会 徳島(2019/2/7)
武田紀彦	講演	N-アルコキシアミドを用いた新分子変換法 第5回関西薬学シンポジウム：化学系の若い力 京都(2019/7/6)
安井基博	講演	Avenaolの全合成と不斉 γ -アルコキシブテノリド合成法の開発 第69回日本薬学会関西支部総会・大会 神戸(2019/10/12) (受賞講演)
Nakamoto Y., Ishimori T., Sano K., Shimizu Y., Togashi K.	論文	Ann. Nucl. Med. 2019, 33, 55-60. "Clinical feasibility of early scanning after administration of 68Ga-DOTATOC." 査読有り
Hagimori M., Taniura M., Mizuyama N., Karimine Y., Kawakami S., Saji H., Mukai T.	論文	Sensors (Basel) 2019, 19(9), 2049-2060. "Synthesis of a novel pyrazine-pyridone biheteroaryl-based fluorescence sensor and detection of endogenous labile zinc ions in lung cancer cells." 査読有り
Sano K., Bao L., Suzuno N., Kannaka K., Yamasaki T., Munekane M., Mukai T.	論文	ACS Appl. Polym. Mater. 2019, 1(5), 953-958. "Development of Cancer-Targeted SPECT/Fluorescence Dual Imaging Probe Based on Polyoxazoline." 査読有り
Matsuura Y., Ueda M., Higaki Y., Sano K., Saji H., Enomoto S.	論文	Mol. Imaging Biol. 2019, 21(3), 519-528. "Evaluation of the relationship between cognitive impairment, glycometabolism, and nicotinic acetylcholine receptor deficits in a mouse model of Alzheimer's disease." 査読有り
Nakamoto Y., Ishimori T., Shimizu Y., Sano K., Togashi K.	論文	Eur. J. Nucl. Med. Mol. Imaging. 2019, 46(7), 1524-1530. "Clinical utility of 68Ga-DOTATOC positron emission tomography for recurrent renal cell carcinoma." 査読有り
Kannaka K., Sano K., Hagimori M., Yamasaki T., Munekane M., Mukai T.	論文	Bioorg. Med. Chem. 2019, 27(16), 3613-3618. "Synthesis of an amphiphilic tetrazine derivative and its application as a liposomal component to accelerate release of encapsulated drugs." 査読有り
Nakamura M., Yamasaki T., Ueno M., Shibata S., Ozawa Y., Kamada T., Nakanishi I., Yamada KI., Aoki I., Matsumoto KI.	論文	Free Radic. Biol. Med. 2019, 143, 412-421. "Radiation-induced redox alteration in the mouse brain." 査読有り
Hiruta Y., Sawada K., Kannaka K., Miura H., Sano K., Mukai T., Citterio D.	学会報告	Development of temperature-responsive polymer materials for cancer therapy and imaging. 2019 CRS Annual Meeting & Exposition, Valencia(Spain). (2019/7/22)
Nakamura M., Shibata S., Yamasaki T., Ozawa Y., Ueno M., Nakanishi I., Kamada T., Aoki I., Yamada K., Matsumoto K.	学会報告	Comparison of X-ray and Carbon-Ion Beam Induced Alterations of RedOx Status in Mouse Brain. ICRR 2019, Manchester(UK). (2019/8/26)
Hagimori M., Taniura M., Mizuyama N., Saji H., Mukai T.	学会報告	Turn-on fluorescence sensors based on 3-(phenylsulfonyl)-pyrazine-pyridone for imaging endogenous labile zinc ions. International symposium on dyes and pigments, Sevilla(Spain). (2019/9/9)
甘中 健登, 佐野 紘平, 萩森 政頼, 山崎 俊栄, 宗兼 将之, 向 高弘	学会報告	[4+2]環化付加Diels-Alder反応を用いたリボソームの薬物放出制御法の開発 日本薬学会第139年会 千葉 (2019/3/21)
佐野 紘平	学会報告	水溶性高分子の物理化学的特性に基づくがんのセラノスティックス薬剤の創製 日本薬学会第139年会 千葉 (2019/3/21)
藤田 幸巳, 大西 直帆, 田中 将史, 向 高弘	学会報告	スチレンマレイン酸共重合体 (SMA) 含有脂質エマルジョンの作製と生体内応用の検討 日本薬学会第139年会 千葉 (2019/3/22)
佐野 紘平, 石田 有美, 高橋 勝史, 水上 達也, 宗兼 将之, 山崎 俊栄, 向 高弘	学会報告	光反応性金ナノロッドと熱応答凝集性ポリマーを組み合わせた新規がん治療法の開発 日本薬学会第139年会 千葉 (2019/3/22)
原 史子, 佐野 紘平, 三浦 拓, 野沢 治加, 宗兼 将之, 山崎 俊栄, 萩森 政頼, 向 高弘	学会報告	薬酸受容体を標的とした核医学／蛍光デュアルイメージングプローブの開発 日本薬学会第139年会 千葉 (2019/3/23)
東 里沙, 山崎 俊栄, 佐野 紘平, 宗兼 将之, 向 高弘	学会報告	脂質アルキルラジカルの生体内検出を指向した放射性ヨウ素標識ニトロキシドの合成と評価 日本薬学会第139年会 千葉 (2019/3/23)
中村 美月, 柴田 さやか, 山崎 俊栄, 上野 恵美, 中西 郁夫, 鎌田 正, 青木 伊知男, 山田 健一, 松本 謙一郎	学会報告	放射線によるマウス脳内レドックス状態の変化 第72回日本酸化ストレス学会学術集会 北海道 (2019/6/27)
甘中 健登, 佐野 紘平, 萩森 政頼, 山崎 俊栄, 宗兼 将之, 向 高弘	学会報告	リボソーム膜上での化学反応に基づいた新規薬物放出制御法の開発 第17回次世代を担う若手のためのフィジカル・ファーマフォーラム(PPF2019) 京都 (2019/9/3)
山崎 俊栄, 佐野 紘平, 宗兼 将之, 向 高弘	学会報告	脂質アルキルラジカルを標的とする放射性ヨウ素標識ニトロキシドプローブの合成と評価 第78回日本癌学会学術総会 京都 (2019/9/26)

佐野 紘平, 山崎 俊栄, 宗兼 将之, 小野 正博, 向 高弘	学会報告	放射性標識熱応答凝集性ポリマーを用いる内用療法の開発 第78回日本癌学会学術総会 京都 (2019/9/27)
甘中 健登, 佐野 紘平, 山崎 俊栄, 宗兼 将之, 向 高弘	学会報告	化学反応による薬物放出制御を目指した両親媒性テトラジン化合物の合成とリポソームへの応用 第78回日本癌学会学術総会 京都 (2019/9/28)
山崎 俊栄, 東 里沙, 佐野 紘平, 宗兼 将之, 向 高弘	学会報告	生体内脂質炭素ラジカルの機能解明を指向した放射性ニトロキシンドプローブの開発 第69回日本薬学会関西支部大会 神戸 (2019/10/12)
甘中 健登, 佐野 紘平, 萩森 政頼, 山崎 俊栄, 宗兼 将之, 向 高弘	学会報告	Click-chemistryに基づく新規薬物放出制御法の開発 ―両親媒性テトラジン誘導体の合成とリポソームへの応用― 第69回日本薬学会関西支部大会 神戸 (2019/10/12)
片岡 若菜, 佐野 紘平, 宗兼 将之, 山崎 俊栄, 向 高弘	学会報告	がん組織内マクロファージを標的とした酸化鉄ナノ粒子を母体とするセラノスティクスプローブの開発 第69回日本薬学会関西支部大会 神戸 (2019/10/12)
坂本 麻緒, 山崎 俊栄, 佐野 紘平, 宗兼 将之, 向 高弘	学会報告	レドックスバランスの崩壊によるがん治療を指向したラジカル放出剤の開発 第69回日本薬学会関西支部大会 神戸 (2019/10/12)
東 里沙, 山崎 俊栄, 佐野 紘平, 宗兼 将之, 向 高弘	学会報告	脂質炭素ラジカルの生体内検出を目的とした放射性ヨウ素標識ニトロキシンドプローブの合成と物性・集積性評価 第69回日本薬学会関西支部大会 神戸 (2019/10/12)
藤田 幸巳, 田中 将史, 向 高弘	学会報告	pH応答性を有する脂質エマルション粒子の細胞内分布 第69回日本薬学会関西支部大会 神戸 (2019/10/12)
水上 達也, 佐野 紘平, 田中 寿枝, 金田 侑子, 高橋 勝史, 原武 芳江, 濱田 夏海, 上野 彰太, 藤田 幸巳, 山崎 俊栄, 宗兼 将之, 小野 正博, 佐治 英郎, 向 高弘	学会報告	熱応答凝集性ポリオキサゾリンを基盤とする新規内用療法薬剤の開発 第69回日本薬学会関西支部大会 神戸 (2019/10/12)
鈴野 菜都佳, 佐野 紘平, 包 玲, 宗兼 将之, 山崎 俊栄, 向 高弘	学会報告	ポリオキサゾリンを基盤としたがんの薬酸受容体を標的とする蛍光イメージングプローブの開発 第69回日本薬学会関西支部大会 神戸 (2019/10/12)
山崎 俊栄, 東 里沙, 佐野 紘平, 宗兼 将之, 向 高弘	学会報告	生体内脂質アルキルラジカル検出に向けた放射性ヨウ素標識ニトロキシンドの開発 第59回日本核医学会学術総会 松山 (2019/11/2)
佐野 紘平, 水上 達也, 田中 寿枝, 金田 侑子, 高橋 勝史, 濱田 夏海, 山崎 俊栄, 宗兼 将之, 小野 正博, 佐治 英郎, 向 高弘	学会報告	熱応答凝集性ポリマー型放射性薬剤を用いる内用療法の開発研究 第59回日本核医学会学術総会 松山 (2019/11/2)
浦上 可奈子, 香本 祥汰, 萩森 政頼, 向 高弘, 上田 真史	学会報告	環状ガドリニウム錯体を含有する薬酸受容体標的自己組織型ナノ粒子MR造影剤の合成と評価 第3回日本核医学会分科会放射性薬品科学研究会／第19回放射性医薬品・画像診断薬研究会 岡山 (2019/11/30)
山崎 俊栄, 東 里沙, 佐野 紘平, 宗兼 将之, 松岡 悠太, 山田 健一, 向 高弘	学会報告	生体内の脂質アルキルラジカルを検出する放射性ヨウ素標識ニトロキシンドプローブの開発 第3回日本核医学会分科会放射性薬品科学研究会／第19回放射性医薬品・画像診断薬研究会 岡山 (2019/11/30)
Nishiyama Y., Noda Y., Nakatani N., Shitan N., Sudo T., Kato A., Chalo Mutiso P. B.	論文	Journal of Natural Medicines, 2019, 73(1): 289-296. "Structure of constituents isolated from the bark of <i>Cassipourea malosana</i> and their cytotoxicity against a human ovarian cell line" 査読有り
北河 修治, 西山 由美	著書	果物の色に秘められた巧みな力⑨ かきといちじく 大塚薬報 2019, 4月, No. 744, 22-25.
北河 修治, 西山 由美	著書	果物の色に秘められた巧みな力⑩ トロピカルフルーツ 大塚薬報 2019, 5月, No. 745, 26-29.
濱田 賀奈子, 西山 由美, 土反 伸和, 加藤 篤 西山 由美	学会報告 講演	<i>Uvaria scheffleri</i> 根の成分検索 日本薬学会第139年会 千葉 (2019/3/21) 植物のちから 2019年度阪神地区相互利用担当者連絡会 神戸 (2019/9/9)
Koyama Y., Sumie S., Nakano Y., Nagao T., Tokumaru S., Michinaga S.	論文	J Biol Chem. 2019, 294, 3920-3933. doi: 10.1074/jbc.RA118.005614. Endothelin-1 Stimulates Expression of Cyclin D1 and S-phase Kinase-Associated Protein 2 by Activating the Transcription Factor STAT3 in Cultured Rat Astrocytes 査読有り
Yamamoto K., Izumi Y., Arifuku M., Kume T., Sawada H.	論文	Sci Rep. 2019, 9, 15977. doi: 10.1038/s41598-019-52135-3. α -Synuclein oligomers mediate the aberrant form of spike-induced calcium release from IP3 receptor. 査読有り
Nakagawa S., Izumi Y., Takada-Takatori Y., Akaike A., Kume T.	論文	Biochem Biophys Res Commun. 2019, 519, 777-782. doi: 10.1016/j.bbrc.2019.09.030. Increased CCL6 expression in astrocytes and neuronal protection from neuron-astrocyte interactions. 査読有り
Takada-Takatori Y., Takeda Y., Imai R., Izumi Y., Akaike A., Tsuchida K., Kume T.	論文	J Pharmacol Sci. 2019, 141, 17-24. doi: 10.1016/j.jphs.2019.08.004. Effects of 2'-3'-dihydroxy-4',6'-dimethoxychalcone derived from green perilla on auricle thickness in chronic contact dermatitis model mice. 査読有り
Takada-Takatori Y., Tomii Y., Takemasa S., Takeda Y., Izumi Y., Akaike A., Tsuchida K., Kume T.	論文	Biol Pharm Bull. 2019, 42, 1936-1941. doi: 10.1248/bpb.b19-00618. Protective Effects of 2',3'-Dihydroxy-4',6'-dimethoxychalcone Derived from Green Perilla Leaves against UV Radiation-Induced Cell Injury in Human Cultured Keratinocytes. 査読有り
Iwasaki M., Izuo N., Izumi Y., Takada-Takatori Y., Akaike A., Kume T.	論文	Biol Pharm Bull. 2019, 42, 1942-1946. doi: 10.1248/bpb.b19-00657. Protective Effect of Green Perilla-Derived Chalcone Derivative DDC on Amyloid β Protein-Induced Neurotoxicity in Primary Cortical Neurons. 査読有り
Takada-Takatori Y., Nakagawa S., Kimata R., Nao Y., Mizukawa Y., Urushidani T., Izumi Y., Akaike A., Tsuchida K., Kume T.	論文	Sci Rep. 2019, 9, 11922. doi: 10.1038/s41598-019-47462-4. Donepezil modulates amyloid precursor protein endocytosis and reduction by up-regulation of SNX33 expression in primary cortical neurons. 査読有り
Michinaga S., Koyama Y.	総説	Int J Mol Sci. 2019, 20, 571. doi: 10.3390/ijms20030571. Dual Roles of Astrocyte-Derived Factors in Regulation of Blood-Brain Barrier Function After Brain Damage 査読有り
小山 豊	講演	アストログリアを標的とした脳機能改善薬の開発：BBB保護と脳浮腫の抑制 (社)予防薬理学研究所キックオフシンポジウム 大阪 (2019/3/13)
Michinaga S., Inoue A., Yamamoto H., Ryu R., Mizuguchi H., Koyama Y.	学会報告	Bosentan, an endothelin receptor antagonist ameliorates vasogenic edema after traumatic brain injury in mice. The Sixteenth International Conference on Endothelin. Kobe (2019/9/22)

道永 昌太郎, 中谷 隆聖, 福留 千裕, 井上 杏奈, 岩根 綾, 田邊 彩美, 山本 隼人, 龍 亮太郎, 水口 博之, 小山 豊	学会報告	頭部外傷マウスにおけるBlood-brain barrierの破綻および脳浮腫に対するエンドセリン受容体拮抗薬Bosentanの効果 日本薬学会第139年会 千葉 (2019/3/22)
道永 昌太郎, 中谷 隆聖, 福留 千裕, 井上 杏奈, 岩根 綾, 田邊 彩美, 山本 隼人, 龍 亮太郎, 水口 博之, 小山 豊	学会報告	エンドセリンETB受容体拮抗薬BQ788によるアストロサイト由来因子の発現調節を介した頭部外傷マウスの脳浮腫に対する抑制効果 第92回日本薬理学会年会 大阪 (2019/3/15)
小山 豊、住江 諭、中野 泰崇、長尾 知哉、徳丸 詩穂、道永 昌太郎	学会報告	エンドセリンによるStat3活性化を介したアストロサイトのcyclin D1およびSkp2の転写促進 第92回日本薬理学会年会 大阪 (2019/3/14)
道永 昌太郎、田邊 彩美、山本 隼人、龍 亮太郎、水口 博之、小山 豊	学会報告	エンドセリンETB受容体拮抗薬BQ788による頭部外傷マウスにおける血管修復因子Angiopoietin-1の発現増加およびTie-2受容体の活性化 生体機能と創薬シンポジウム2019 東京 (2019/8/29)
小山 豊、濱田 靖祥、井高 佐知子、長田 彩夏、道永 昌太郎	学会報告	エンドセリンETB受容体を介するアストロサイトNa-K-Cl共輸送体-1(NKCC1)の発現増加 第136回日本薬理学会近畿部会 枚方 (2019/11/23)
道永 昌太郎、井上 杏奈、山本 隼人、龍 亮太郎、水口 博之、小山 豊	学会報告	エンドセリン受容体拮抗薬Bosentanによる頭部外傷後の血管原脳浮腫に対する抑制効果 第135回日本薬理学会近畿部会 岐阜 (2019/6/21)
八巻 耕也、井上 聖太、寺師 匡人、小椋 詩織、稲垣 佑亮、中 成利、中垣 友子、江藤 忠洋、金容必、泉 安彦、小山 豊	学会報告	Src family kinase 阻害薬 saracatinib の抗アレルギー作用 日本薬学会 第139年会 千葉 (2019/3/23)
八巻 耕也、小山 豊	学会報告	IgAの感作抑制作用と並行して誘導されるB細胞活性化抑制と抗原分布変化 第69回日本薬学会関西支部総会・大会 神戸 (2019/10/12)
三羽 伸明、村上一馬、入江一浩、泉 安彦、久米 利明	学会報告	生体内でのルテオリン代謝物の抽出とAβの凝集および神経毒性への作用解析 日本薬学会 第139年会 千葉 (2019/3/21)
高良 香葉子、高島 悠記、高島小波、中西 啓介、泉 安彦、赤池 昭紀、宮坂 知宏、久米 利明、土田 勝晴	学会報告	低温負荷による脳内タウの過剰リン酸化に対するドネペジルの作用 日本薬学会 第139年会 千葉 (2019/3/22)
猪瀬 由莉、泉 安彦、片岡 春恵、小山 豊、金子 周司、久米 利明	学会報告	新規Nrf2-ARE活性化物質のヘムオキシゲナーゼ-1を介した抗パーキンソン病作用 第135回日本薬理学会近畿部会 岐阜 (2019/6/21)
松本 真実、宮本 萌里、澤幡 雅仁、小田 果奈、泉 安彦、赤池 昭紀、久米 利明	学会報告	低酸素処置によるゼブラフィッシュ脳虚血モデルの作出と薬効評価系の構築 第135回日本薬理学会近畿部会 岐阜 (2019/6/21)
立本 愛、泉 安彦、有福 萌波、堀内 奈緒子、杉山 峰是、井川 紗央里、八巻 耕也、久米 利明、小山 豊	学会報告	ミクログリアにおけるNrf2-ARE経路活性化物質による炎症性サイトカインの抑制作用とその機序の解析 生体機能と創薬シンポジウム2019 東京 (2019/8/30)
竹中 未紗、高島 悠記、木全 璃子、泉 安彦、赤池 昭紀、久米 利明、土田 勝晴	学会報告	ドネペジルのSorting Nexin 33発現量上昇を介したAβ抑制作用 生体機能と創薬シンポジウム2019 東京 (2019/8/30)
猪瀬 由莉、泉 安彦、片岡 春恵、小山 豊、金子 周司、久米 利明	学会報告	新規 Nrf2-ARE 活性化物質のヘムオキシゲナーゼ-1 を介したドパミン神経保護作用 次世代を担う創薬・医療薬理シンポジウム2019 東京 (2019/8/31)
竹中 未紗、高島 悠記、木全 璃子、泉 安彦、赤池 昭紀、久米 利明、土田 勝晴	学会報告	ドネペジルは細胞内輸送分子 Sorting Nexin 33 を介して APP の非アミロイドプロセッシングを賦活する 次世代を担う創薬・医療薬理シンポジウム2019 東京 (2019/8/31)
福澤 萌香、泉 安彦、木下 慎一、西峠 和馬、一村 涼夏、小山 豊、金子 周司、久米 利明	学会報告	DAT 遺伝子へのインテグリン α5 遺伝子ヘテロノックイン ES 細胞の作製と神経分化効率に 関する検討 次世代を担う創薬・医療薬理シンポジウム2019 東京 (2019/8/31)
立本 愛、泉 安彦、有福 萌波、堀内 奈緒子、杉山 峰是、井川 紗央里、八巻 耕也、久米 利明、小山 豊	学会報告	ミクログリアにおけるNrf2-ARE経路活性化物質による炎症性サイトカインの抑制作用とその機序の解析 次世代を担う創薬・医療薬理シンポジウム2019 東京 (2019/8/31)
高島 小波、高島 悠記、高良 香葉子、野々口 茉奈、庄野 七海子、泉 安彦、赤池 昭紀、宮坂 知宏、久米 利明、土田 勝晴	学会報告	アルツハイマー病治療薬による過剰タウリン酸化抑制作用—ドネペジルのタウリン酸化 抑制— 第69回日本薬学会関西支部総会・大会 神戸 (2019/10/12)
泉 安彦、立本 愛、有福 萌波、堀内 奈緒子、杉山 峰是、井川 紗央里、八巻 耕也、久米 利明、小山 豊	学会報告	Nrf2活性化薬によるミクログリア活性化の抑制作用とその機序解析 第136回日本薬理学会近畿部会 枚方 (2019/11/23)
谷田 博明、杉本 真悠、山田 彩加、中島 園美	学会報告	BPSD(認知症の行動および心理的症状)の行動面と介護者負担との関連 日本薬学会第139年会 千葉 (2019/3/23)
山田 彩加、杉本 真悠、谷田 博明、中島 園美	学会報告	認知症高齢者の家族介護者のソーシャル・サポートと介護負担感との関係 日本薬学会第139年会 千葉 (2019/3/23)
杉本 真悠、山田 彩加、谷田 博明、中島 園美	学会報告	認知症高齢者の家族介護者における抑うつと介護負担感の関係 日本薬学会第139年会 千葉 (2019/3/23)
Pranindya Rinastit., Ikeda K., Kuribayashi Y., Miyagawa K., Yagi K., Suzuki Y., Hirata K., Emoto N.	学会報告	Fam13a is a novel player in the development of pulmonary arterial hypertension 第83回日本循環器学会学術集会 横浜 (2019/3/29)
Honda S., Ikeda K., Hosono A., Urata R., Yagi S., Emoto N., Matoba S.	学会報告	Endothelial cell senescence Involved in the Progression of Atherosclerosis 第83回日本循環器学会学術集会 横浜 (2019/3/29)
Imam Manggalya Adhikara., Yagi K., Suzuki Y., Aristi Intan Soraya., Ikeda K., Hirata K., Emoto N.	学会報告	Attenuates Lipoprotein Retention and Abrogates Aortic Smooth Muscle Cells Migration 第83回日本循環器学会学術集会 横浜 (2019/3/30)
向井 淳、田中 秀和、佐野 裕之、山下 健太郎、田中 悠介、庄野 阿侑、鈴木 麻希子、吉川 祥子、住本 恵子、柴田 奈緒、横田 駿、須藤 麻貴子、曾我文隆、高田 裕基、堂国 久美子、畑澤 圭子、久松 恵理子、松本 賢亮、中山 和彦、江本 憲昭、平田 健一	学会報告	Impact of Tricuspid Regurgitation on Long-term Outcomes in Pulmonary Hypertension 第83回日本循環器学会学術集会 横浜 (2019/3/30)
Onishi H., Taniguchi Y., Matsuoka Y., Yanaka K., Tamada N., Izawa Y., Tsuboi Y., Mori S., Nakayama K., Ohtake H., Kobayashi S., Emoto N., Hirata K.	学会報告	Evaluation of Microvasculopathy Using Dual-energy CT in Chronic Thromboembolic Pulmonary Hypertension 第83回日本循環器学会学術集会 横浜 (2019/3/30)
Gusty Rizky Teguh Ryanto., Ikeda K., Miyagawa K., Yagi K., Suzuki Y., Hiiirata K., Emoto N.	学会報告	Critical Role of INHBA in Pulmonary Arterial Hypertension Development 第83回日本循環器学会学術集会 横浜 (2019/3/31)

Taniguchi Y., Matsuoka Y., Onishi H., Yanaka K., Nakayama K., Emoto N., Hirata K.	学会報告	Balloon Pulmonary Angioplasty for Patients with Symptomatic Chronic Thromboembolic Disease without Pulmonary Hypertension 第83回日本循環器学会学術集会 横浜 (2019/3/31)
Urata R., Ikeda K., Hoshino A., Honda S., Yagi N., Emoto N., Matoba S.	学会報告	Senescence Impairs Endothelial Angiogenic Functions by Altering Cellular Energy Metabolism through p53-TIGAR Axis 第83回日本循環器学会学術集会 横浜 (2019/3/31)
江本 憲昭	講演	膠原病にはなぜ肺高血圧症が合併しやすいのか 第4回日本肺高血圧・肺循環学会学術集会 浜松 (2019/6/21)
坪井 康典, 小林 成美, 小川 真人, 小槇 公大, 後竹 康子, 谷口 悠, 酒井 良忠, 江本 憲昭, 岡田 健次, 平田 健一	学会報告	PEA周術期におけるCTEPH患者の身体機能および骨格筋力の変化 第4回日本肺高血圧・肺循環学会学術集会 浜松 (2019/6/21)
松岡 庸一郎, 谷口 悠, 住本 恵子, 大西 裕之, 向井 淳, 玉田 直己, 谷仲 謙一, 坪井 康典, 大竹 寛雅, 江本 憲昭, 平田 健一	学会報告	CTEPH患者に対するBPA治療後の低酸素血症、肺機能に関する検討 第4回日本肺高血圧・肺循環学会学術集会 浜松 (2019/6/22)
大西 裕之, 谷口 悠, 松岡 庸一郎, 谷仲 謙一, 玉田 直己, 坪井 康典, 森 俊平, 小林 成美, 江本 憲昭, 平田 健一	学会報告	Assessment of microvasculopathy by dual-energy CT in CTEPH 第4回日本肺高血圧・肺循環学会学術集会 浜松 (2019/6/22)
Noriaki Emoto	講演	Translational Research of Endothelin System, Pulmonary Hypertension and Diabetic Nephropathy Jogja Cardiology Update 2019 Indonesia (2019/7/19)
Rinasititi P., Ikeda K., Kuribayashi Y., Miyagawa K., Yagi K., Suzuki Y., Hirata K., Emoto N.	学会報告	Loss of Fam13a exacerbates pulmonary arteruak hypertension by promoting endothelial-to-mesenchymal transion Jogja Cardiology Update 2019 Indonesia (2019/7/19)
Gusti Rizky Teguh Ryanto., Ikeda K., Miyagawa K., Yagi K., Suzuki Y., Hirata K., Emoto N	学会報告	Inhibin beta-A is a novel gene involved in the development of pulmonary arterial hypertension through inhibiting BMPRII-signaling in endothelial cells ESC Congress World Congress of Cardiology France (2019/9/2)
Rinasititi P., Ikeda K., Kuribayashi Y., Miyagawa K., Yagi K., Suzuki Y., Hirata K., Emoto N.	学会報告	Loss of Fam13a promotes endothelial-to-mesenchymal transition and exacerbates pulmonary arterial hypertension 第3回日本循環器学会基礎研究フォーラム 東京 (2019/9/7)
Gusty Rizky Teguh Ryanto., Ikeda K., Miyagawa K., Yagi K., Suzuki Y., Hiiirata K., Emoto N.	学会報告	INHBA is a Critical Gene in Pulmonary Arterial Hypertension Development 第69回日本薬学会関西支部総会・大会 神戸 (2019/10/12)
Pranindya Rinastit., Ikeda K., Kuribayashi Y., Miyagawa K., Yagi K., Suzuki Y., Hirata K., Emoto N.	学会報告	Loss of Fam13a drives Endothelial-to-mesenchymal Transition and Contributes to the Vascular Remodeling in Pulmonary Arterial Hypertension 第69回日本薬学会関西支部総会・大会 神戸 (2019/10/12)
Adam Prabata., Elda Putri Rahardini., Ikeda K., Yagi K., Hirata K., Emoto N.	学会報告	GPnMB is a Novel Protective Factor in Obesity-related Metabolic Disorder by Ameliorating Inflammation in White Adipose Tissue 第69回日本薬学会関西支部総会・大会 神戸 (2019/10/12)
Andreas Haryono., Ikeda K., Dhite Bayu Nugroho., Hirata K., Emoto N.	学会報告	Loss of Chondroitin Sulfate N-acetylgalactosaminyltransferase-2 Exacerbates Cardiac Remodeling and Heart Failure after Pressure-overload 第69回日本薬学会関西支部総会・大会 神戸 (2019/10/12)
Yamasaki G., Okano M., Nakayama K., Jimbo N., Sendo S., Tamada N., Misaki K., Shinkura Y., Yanaka K., Tanaka H., Akashi K., Morinobu A., Yokozaki H., Emoto N., Hirata K.	論文	Intern Med. 2019;58(4):593-601. doi: 10.2169/internalmedicine.1143-18. "Acute Pulmonary Hypertension Crisis after Adalimumab Reduction in Rheumatoid Vasculitis." 査読有り
Suto M., Matsumoto K., Kido S., Mori S., Nakayama K., Tanaka H., Inoue T., Emoto N., Okita Y., Hirata K.	論文	Intern Med. 2019;58(9):1301-1305. doi: 10.2169/internalmedicine.2183-18. "Advanced Pulmonary Hypertension Due to Congenital Double-shunt Successfully Treated with Surgical Repair and Up-front Combination Therapy." 査読有り
Hartopo AB., Anggrahini DW., Nurdianti DS., Emoto N., Dinarti LK.	論文	Pulm Circ. 2019 Nov 18;9(4):2045894019884516. doi: 10.1177/2045894019884516. "Severe pulmonary hypertension and reduced right ventricle systolic function associated with maternal mortality in pregnant uncorrected congenital heart diseases." 査読有り
Sumimoto K., Taniguchi Y., Matsuoka Y., Onishi H., Emoto N., Hirata K.	論文	Pulm Circ. 2019 Dec 27;9(4):2045894019896682. doi: 10.1177/2045894019896682. "Anagrelide-induced Pulmonary Arterial Hypertension": A Rare Case of Drug-Induced Pulmonary Arterial Hypertension" 査読有り
Adhikara IM., Yagi K., Mayasari DS., Ikeda K., Kitagawa H., Miyata O., Igarashi M., Hatakeyama K., Asada Y., Hirata K., Emoto N.	論文	Biochem Biophys Res Commun. 2019 Jan 29;509(1):89-95. doi: 10.1016/j.bbrc.2018.12.068. "Chondroitin sulfate N-acetylgalactosaminyltransferase-2 deletion alleviates lipoprotein retention in early atherosclerosis and attenuates aortic smooth muscle cell migration." 査読有り
Sari DCR., Arfian N., Tranggono U., Setyaningsih WAW., Romi MM., Emoto N.	論文	Iran J Basic Med Sci. 2019 Oct;22(10):1218-1224. doi: 10.22038/ijbms.2019.29012.7002. "Anagrelide-induced pulmonary arterial hypertension": a rare case of drug-induced pulmonary arterial hypertension.
江本 憲昭	総説	肺高血圧症の病態生理 日本臨床第77巻・第7号 1062-1066 査読無し